夕刊
滿洲日報
八月十三日
發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社滿洲日報社

滿鐵總裁の後任は仙石貢氏に決定す
濱口首相けふ閣議にて推薦し勅裁を經て卽日發表

(東京特電十三日發)濱口首相は仙石貢氏に對し昨夜滿鐵總裁たらんことを交涉の結果仙石氏は一夜考慮を約し今朝回答する事になつたが結局受諾するものと思はる

(東京特電十三日發)仙石氏の受諾確實となつたので濱口首相は十三日閣議に於て仙石氏を推し度き旨同意を求め仙石氏には形式的に電話にて交涉を重ねたる後勅裁を經て卽日左の如く任命發表の筈

正四位勳一等 仙石貢
南滿洲鐵道株式會社總裁仰せ付けらる

尙副總裁は二、三日遲れる模樣あるも大平駒槌氏に內定してゐる(以上號外再錄)

けふ閣議にて決定

【東京十三日發至急報】本日の閣議に於て滿鐵總裁に仙石貢氏を推すことに決定し直に御裁可の手續を執る事となり、今明日中に正式發令されることに決定した

滿鐵經營の方針
製鋼所問題は前總裁と打合す 大連は氣候よく大にやる積り
仙石新滿鐵總裁曰く

【東京十三日發電】滿鐵總裁に決定した仙石貢氏は今朝左の如く語つた
滿鐵總裁に就ては既に片岡君に內定したと傳へられてゐたのであるから一通り其間の事情を聽くべく今朝幣原君を通じて濱口首相の意嚮を聞いて貰ひ之に對する自分の立場をも述べて諒解を得たから正式に受諾の意を表明した、滿鐵經營に關してはまだよく考へてはゐないが昭和製鋼の問題もあり、色々調査せねばならぬ事もあるから山本君にゆつくり會つて聞く積りである、副總裁、理事なぞに就ては何も極めてゐない、赴任の日取は未だ決めてゐない、大連は日本より氣候がよいと云ふから大にやる積りだ(寫眞は仙石新總裁)

前總裁の計畫を理解し各種の事業を繼續せん

【東京十三日發電】仙石氏の滿鐵經營方針については政府の緊縮政策に伴ひ一切の事業に緊縮を加へらるゝものゝ如く想像されてゐるが、仙石氏の意嚮は必らずしも然らず、滿鐵の如き事業會社を經營するにおいては政府の緊縮政策と步調を共にすべきものに非ずとの意見で、山本總裁の計畫に對しても相當に理解して繼續するものゝ如くである

定例閣議
滿鐵總裁を決定

【東京十三日發電】十三日の定例閣議は午前十時より開會滿鐵總裁の後任に仙石貢氏を推す件を決定、海相より軍縮問題、幣原外相より露支問題を報告し、滿鐵副議長の實行豫算內示要求に對して井上藏相の歸京を待つて更に協議する事とし零時半散會した

仙石總裁略歷

正四位勳一等工學博士仙石貢氏は高知縣士族仙石彌次馬氏の二男にして安政四年六月生れ(七十三歲)明治十一年東京大學理學部土木工學科を卒業し東京府屬となり、後遞信省技師となり工學博士の學位を授けられた其後實業界に入り筑豐、九州各鐵道會社長、福島木材猪苗代水力電氣、日本窒素肥料各會社の重役となる、明治四十一年以後高知市及郡部より選ばれ衆議院議員となる事三回、民政黨に席を置き領袖となり、大正十三年六月加藤內閣の鐵道大臣となる尚大正三、四年事件の功により勳一等に叙し瑞寶章を賜はる

かみなり
滿鐵總裁更任

故加藤高明伯は滿鐵社長として安廣伴一郎氏を起用して世間をアッといはした。今度の濱口內閣も仙石貢氏を滿鐵總裁たらしめた。蓋し人事行政上の一大傑作と申すべきであらう。

◇

殖民地における首腦者の起用を政黨政派から超越せしめよといふことは、一般の希望であり、殊に殖民地よりの要望である。吾人といへども、議會政治を信奉し、政黨政治を是認する以上は、政治の基調が政黨政派によつて支配せらるゝものなることを否認するものではない。たゞそノには弊害の一面の存することを忘れる譯には行かぬ。政黨政治の行はれんとするや、騎虎の勢ひ、政黨政派の弊害は理論を突破して感情にまで走つた。而してその餘弊が殖民地にまで波及せんとするに對し、吾人は少しく寒心の感なきを得ぬものがあつた。すなはち政黨政治は理論としては是認するが、事實問題として、未だ弊害のつき纏ふに迷惑を感じてゐた。

◇

然るに濱口首相は滿鐵總裁後任として仙石翁を起用することに成功した。この分で行くと、朝鮮總督に若槻禮次郎氏を起用することに、成功するかも知れない。それは兎もかくとして、滿鐵總裁として仙石翁を起用したことは、至難なる人事行政上、近頃の一大快事といふもの、やはり民政黨に關係あることは否定し得ない。併しながら、仙石翁の人物材幹は超々黨派といふところで政黨政派を超越したものといふことが出來やう。この意味において吾人は、濱口首相の仙石翁起用に苦心の存し、それに成功したことを稱讃せざるを得ない。

◇

仙石貢氏は安政四年生れの七十三歲の老人である。いかに神鳴爺とは申せ、寄る年波にはといふこともあるが、一生の思ひ出最後の御奉公として例の神鳴ぶりを發揮するも、時節柄、一服の淸涼劑には確になる。

◇

綱紀肅正、緊縮節約は濱口內閣の根本方針である。この根本方針を如實に具體化するには、仙石翁の如き、餘りに現代的なる現代に逆行する神鳴爺を起用することも、蓋し適材適所といはんよりも、適時代適時勢と申すべきものである。何は兎もあれ時代が時代だ。青天の霹靂といふほど、一ツかみなりを發揮せしむることだ。われわれはまづ神鳴爺のお手並を拜見するとしやう(一記者)

仙石總裁によつて重大國策遂行切望
山本前滿鐵總裁談

【東京十三日發電】山本滿鐵前總裁は語る
仙石君が余の後任として銓衡された事は多少意外とする處であるが、誠に結構な後任を得た、今日の滿鐵のためにも愉快に思ふ、今日の滿鐵は獨り滿蒙に於ける我經濟發展の中軸たるのみならず實に日本產業に缺ぐべからざる密接なる關係を有する、此點から濱口君も經濟界に經驗深き仙石君を選んだものと思ふ、仙石君は人も知る如く一面豪放的性格の持主であるが、他面には英國流の極めて健實味を備へた實業家出身の政治家であり、又多年鐵道經營には深い經驗もあるから同君の手腕に依つて滿鐵を中心とした幾多の國策遂行に關する重大產業の解決を行つて貰ひ度い、余は政治上の立場を異にするが同君が余の後任として滿鐵總裁となつたのは最も喜びに堪えない

各方面の仙石總裁評

拓相にとり苦手 緊縮振が見もの
貴族院方面の批評

【東京特電十三日發】仙石氏の滿鐵總裁決定に關し貴族院側の批評は左の如くである
片岡君の滿鐵總裁內定に關して閣公が首をひねつたとの說もあり、當面の仙石君も故障を唱へた一人であると云つてゐる、片岡君よりは仙石君の方が勿論結構で滿鐵としては祝すべきである、山本總裁が隨分思ひ切つた手を擴げた後始末を仙石君がどう引締めて行くかゞ見物である、氏は民政黨の長老で松田拓相の云ふことなぞはちよつと聽くまいから拓相に取つては苦手であらう、仙石君によつて選擧費捻出の弊風が改革されるは滿鐵にとつてこれほど結構な事はない、朝鮮總督の人選にもこの調子でやつて貰ひたいと大膽好感を示めしてゐる

前總裁の計畫を公平に取捨せん
森政友會幹事長談

【東京特電十三日發】滿鐵總裁に仙石氏就任せるに就て森政友會幹事長は語る
仙石君を滿鐵に持つて行つた事は民政黨內閣人事中の最も出來榮えのよい一つだと思ふ、この人ならば前總裁が計畫した事を正面から正直に解釋して取るべきは採り捨てるべきは棄てる態度に出るだらう、我等は仙石君が進んで引受けた事を多とする

鐵相時代には改主建從を主張
濱口、若槻兩氏は氏の後輩
石本大連市長談

滿鐵總裁に仙石貢氏決定の確報を齎して石本市長を訪へば欣然として語る
仙石老が乘出すとは意外だつたよ、滿鐵は得難い人を得た譯で滿鐵のみならず滿蒙邦人のために慶賀せずにはゐられない、氏は土佐藩の **家老職の** 家に生れ、私などにとつては郷黨の大先輩でいろいろ世話になつたこともあり辱知の間柄だ、少壯時代から豪放不羈、信念強い人で一度正しいと信じたら最後必ず貫徹するといつたやうな人で線の太い點で今の政界に異彩を放つてゐるよ、鐵道界に於けるオーソリテイたることは世人熟知のことで日清戰爭當時には鐵道技監として軍隊輸送上に功勞あり、大正三年には鐵道院總裁として我が鐵道を整備充實して基礎を固め加藤高明內閣時代には鐵道大臣として **改主建從** の大策を樹て、この改主建從は一時合言葉となつただけに今尚吾人の記憶に新たなるものがある、濱口首相や若槻氏あたりは後輩で昨今悠々自適し老來益々豪快にして恬淡物にこだわらぬ眞面目を發揮してゐたが、後輩の懇望もだし難く出廬したものと思はれる、今年七十三歲の高齡であるが矍鑠として壯者を凌ぐ元氣で、滿鐵總裁としての抱負經綸を大いに期待される譯だが、恐らく **放漫政策** を抑へて冗費を省くと共に一面必要缺ぐべからざるものはどしどし仕事を進めるだらう、兎もかく何分鐵道界の大先達で而もあの性格ときてゐるから、むだのないきびきびした能率の上る滿鐵が生れるだらうよ、どうだい君、利權漁りの連中や、滿鐵のパスなぞが尻込みしてゐやしないかね
と大笑した、次で副總裁に內定の報ある大平氏のことに就いては左の如く語る
氏は前滿鐵副社長在任時代に非常に好評だつた人で、滿鐵社員も大喜びだらうし最も適任者たるを失はぬ、そして新總裁は恐らく大體の仕事は氏に任せて十分に手腕を發揮させることになるだらうと思はれる

「此人以上の適任者は居ない」
大藏公望氏の批評

大藏公望男は新滿鐵總裁仙石氏の爲人を評して曰く
「仙石さんの滿鐵總裁とは上々ですな、山本さんの後に若し滿鐵總裁を選ぶならばこの人以上の人物はまづ見當りますまい、私等 **在滿邦人** は濱口首相に感謝狀を送らねばならぬと思ふのですよ、日本の鐵道關係で云ふならば古市光威氏に次いでの鐵道の戲人と云はるべき人です、人物の立派は勿論ですが、第一仕事に明るい、山本さんの殘した事業も仙石さんであるだけ立派に實を結ぶでせう、この上朝鮮に若槻氏でも來るとすれば私等は國民的感謝を以て濱口內閣の人事政策を祝したいと思ふのです、尚 **大平氏の** 副總裁內定も仙石さんの總裁であれば確かも知れない、大平氏は頗る韜晦的であるがしかし腹は出來てゐる人であつていゝ加減な人の下で副總裁を勤める男ぢやないと思ふのですよ、但し仙石さんであるから副總裁も受けることでせう」

利權運動などは絕對に受つけぬ
鐵道經營等ては第一人者
伊澤滿鐵涉外課長談

仙石氏の滿鐵總裁決定について滿鐵鐵道部伊澤涉外課長は語る
仙石さんを滿鐵總裁に迎へたことは滿鐵社員として最も喜ばしい、私は大正十二年洋行から歸つて滿鐵に來るまで鐵道省に奉職し仙石さんが鐵道大臣當時自分は運輸課長と配車課長とを兼ねてゐたが、氏の如何なる **獨斷專行** の下に使はれてゐても不平などは決して起るものではない、氏は技術界でも鐵道經營の方面でも日本に於る第一人者であるばかりでなく、老鍊な今日尚ほ西洋の本を各方面に亘つて讀んでゐられるから、國際問題についても殊に造詣深く總ての問題を眞直に觀、特に公私の區別は嚴然と區別される人である、職務上についても信念の強い人であるだけ眞面目な職務上のことなら如何なる人の話もよく聽かれ、狷介も强いが今日では若い時程のことはない **技術方面** で今日最も成績を擧げて[illegible]筑豐線の如きは我國鐵道營業中一番收入の多い鐵道である、此敷設が日本に於ける鐵道の初期時代卽ち三十年前の計畫で如何に氏に先見の明があつたかを窺知される、大臣在任中の如きも地方巡視の際は地方官民が **利權を獲** んため非常に歡待してゐるにも拘らず決して此の招待に應ぜず、先手を打つて行先々の地方官民を招待し利權の如きは敵味方とも絕對に受けない高潔な人である、列車內で[illegible]してゐるが決して芝居的のものでない、兎に角技術の上からも政治の上からも將又何れの方面から見てもこれ以上の總裁を得るは絕對にないと斷言し得る、日本のため支那のためまた滿洲のため滿鐵のため非常に幸福だと思つてゐる

仙石氏はゴルフ好き
宇佐美部長談

仙石氏の滿鐵總裁決定の報を齎し宇佐美鐵道部長を訪へば非常に喜んで語る
仙石氏の如き人格高潔な技術の優秀な政策の眞面目な態度の堂々たる人を迎へることに先づ心からの愉快を感ぜずにはゐられない、恐らく仙石氏の滿鐵總裁に對し日本中一人として異論のある人はなからうと信ずる、氏の總裁就任は滿鐵經營の完璧を期待し且つ民政黨としてもその信用をより以上に揚げ得ることゝ思ふ、自分は總裁が鐵道院總裁當時門司鐵道管理局に使はれてゐたことがある、尚總裁は老體であるがゴルフが好きであるため健康については壯者を凌ぐ位で御着任の上は滿鐵のためまた國家のため最善の策を行はれることゝ信じてゐる

新長官同樣豪快不羈
田中民政署長談

滿鐵總裁に決定した仙石貢氏に就て田中民政署長は次の如く語つた
私は全然未識の人だが氏が鐵道界の權威であり、その人と爲りが豪快不羈今の政界に一寸見出し難い人であることは餘りに知れ渡つてゐる事實である、それだけに氏の總裁就任は大いにその業績を期待される譯で隨分思切つた仕事が進められて行きはしないだらうか、これで太田長官と共に豪愎な首腦者が二人揃つた譯だが、共々に相當大鉈が下されて放漫政策を禁壓し緊縮整理の政策がきびきびと實現されてゆくだらうと思はれる

私の辭任は當然
社員理事とは事情が違ふ
小日山滿鐵理事談

齋藤、神鞭理事と共に辭意を表明したと傳へらるゝ小日山滿鐵理事はその眞相について語る
自分一個人に關する限りにおいてはそれは事實だ、自分は社員理事と少し事情が異なり一度滿鐵を辭し國際運輸に入り山本總裁の就任に及んで大藏、森理事等が辭し自分は其の間に割り込んだ出戻りであるから、後任總裁の如何に拘らず此際自分が辭意を表明することは當然の事柄であると考へる、自分は此旨を山本總裁に口頭を以て告げたもので山本總裁は卽決せず自分の意のあるところを政府へ傳へるとのことであつた
尙ほ新總裁に就いて
後任總裁に仙石氏、副總裁に大平氏が決定したやうだが眞に適任で滿洲の爲めに甚だ結構なことである、氏は實業界の重鎭で鐵道出身であり殊に政界の長老で先年政界を隱退し政黨に左右にされぬ押もあり、大局を押へて小事に拘泥せず總裁として申分がない、大平氏とのコンビネーションも好く行くであらう

勞農の砲擊に支那側抗議
勞農代表は取合はず

【滿洲里十二日發電】十一日拂曉露支兩軍衝突し支那側死傷者を出した事件に就き支那側は緊急會議を開いた結果ロシアに嚴重抗議することゝなり蔡交涉員は十二日夕ウリヤのロシア代表に長距離電話を掛けたが、メリニコフ氏は病氣と稱して取合はず、秘書ミハイロフ氏は自分の關知するところに非ずと突放したので、支那側は大いに憤慨し異口同音にロシアの態度を攻擊しなほ支那は絕對應戰しないと稱してゐる

張繼氏赴日中止
今朝奉天發北平へ

【奉天特電十三日發】十一日來奉の張繼氏は十二日午前十時より林奉天總領事と約一時間に亘り會見し朝鮮經由赴日を傳へられつゝあつた張繼氏は十三日朝突如豫定を變更して午前八時廿分奉天發北平へ向つた

不安の滿洲里
商店また閉店

【滿洲里十二日發電】露支國境に於ける露支兩軍の衝突以來市中に謠言盛んに流布され十二日市中の商店は又復閉店し一旦當地に歸來せる者も再び荷物を纏めてチ、ハル、ハルビン等に引揚げをはじめ支那郵便局は小包を三日以內に引取るべしとの布告を出す等險惡な形勢に在るが、市民は朱紹陽代表一行の列車が驛頭に在るを見て不安の裡にも露支和平交涉の前途に一縷の望みを託してゐる

市收入役事務引繼

大連市收入役近藤誠久氏は十三日收入役代理江口氏より正式に事務引繼を爲した

うらる丸無電 十四日午前七時港外着豫定

人事

▲高柳保太郎氏 十三日旅順訪問
▲津田俊太郎氏(副稅務司) 十四日大連出帆の上海丸にて離滿、十三日挨拶のため各方面を歷訪
▲安藤基平氏(奉天高女校長) 高柳社長に挨拶のため十三日

本社に來訪

▲前田孝哉氏(霞浦海軍航空隊附) 十三日出帆はるびん丸にて內地へ
▲長澤圭五氏(大連土木出張所長) 同上
▲渡久山寬常氏(辯護士) 同上
▲新野尾善九氏(同) 同上
▲福士尙志氏(第五十七聯隊附少佐) 同上
▲小杉武司氏(陸軍少將) 同上
▲高田友助氏(陸軍步兵大佐) 同上
▲助川德蠻氏(前關東廳典獄) 同上
▲恒吉秀雄氏(關東軍副官步兵中佐) 就任挨拶のため市內各方面を歷訪
▲厚東篤太郎氏(要塞司令官陸軍中將) 十四日着任
▲中村演作氏(第十九旅團長) 同上
▲長山警視 十五日九時沙河口驛發列車にて赴任

大觀小觀

仙石貢翁の起用、民政黨中にあつて政黨臭からぬところに味がある。

◇

今さら三菱の、三井のといふべきでない。

◇

超々弩級はやはり超々弩級であらねばならぬ。

◇

安政四年の生れ、七十三歲とはいはゆる現代ばなれのしてゐるところもあらう。がまた、そこにまた現代に對する對症劑として妙味ありともいへやう。

◇

立秋、殘暑に神鳴。一層のこと大風雨を將來して、この陰鬱な蒸し暑さを一掃せしめんか。

◇

遠鳴りも何たのまるゝ夕すゞみ

天氣豫報

(十四日)曇り一時晴れ但し驟雨模樣南東の風
日出五時五分 日沒六時五十一分
滿潮前五時五分 後五時
干潮前十一時四十分 後十一時[illegible]分

各地の溫度

	十一時	昨日最高
大連	二七、七	二九、七
旅順	二八、二	三〇、二
營口	二七、五	三〇、八
奉天	二七、三	三一、三
長春	二二、〇	三一、二

ツエ伯號の乘客は專門家揃の顔觸れ

萬一の場合には非常な援助 力强い訪日の壯擧

【フリードリヒスハーフエン特電十二日發】ツエ伯號今回の東京行飛航の乘客はすべて二十名と發表されたその顔觸れの中には各方面の專門家揃ひで一朝必要が起つた場合にはこれ等各方面の專門知識はツエ伯號に對する非常な援助となるであらう、即ちサイルコプフ氏はドイツで一流の氣象學者でありネギアス氏は醫者で病氣や怪我の場合は唯一の賴りである、またカルクリン氏はロシアの地理學者で今度ツエ伯號がとらんとしてゐるシベリアの地理には通曉してゐる人である、日本の藤吉少佐アメリカのリチヤードソン及びロスアンゼルス號の司令である米國のローゼンダール氏とは飛行船の專門家で火急の場合には何時でも自ら代つてツエ伯號の司令たり得る人である、更に英國のウイルキンス氏は屢々兩極探檢に於て名を轟かした人でもしツエ伯號がシベリアの北方を飛ぶ際には無限の援助をなすであらう

國政府は喜んで許可して吳れた特に露國は最も懇切に迎へた、又日本の援助も感謝して居る

訪日コースは天候で決る

地上の目標は必要でない 第一船長レ氏の談

【フリードリツヒスハーフエン特電十二日發】ツエ伯號第一船長レーマン氏の語る所に據れば總ての飛航計畫は既に最も用意周到に編成されて居り今後たゞ恐るゝ所は

日本に 於ける熱狂的歡迎で餘り騷がれては乘組員をスポイルされるから歡迎等は成るべくアツサリと願ひ度いと、尙ほ東京行コースに就きレーマンは地圖を示し乍ら語る

東京行飛航のコースは全然天候の支配する所で何れのコースを採るかは斷定出來ない、我等は何等地上の目標を必要とせず大洋の上空をも飛行し得るのである、從つて天候次第で

西伯利 鐵道を數百哩も離れるやも知れぬ、シベリヤ滿洲方面の氣象通報に就ては露西亞及び日本は協力して遺憾なく之を供給して吳れることになつてゐる今回世界一周飛行に就き各

はぎの秋　けふ南花園で

飛來の日迫り

歡迎準備整ふ 午前六時着陸を希望 滯在中のプログラム決る

【東京十三日發電】待ちに待たれる空の怪物飛來の日も愈々迫つた外電は十五日フリードリツヒスハーフエン出發を報じてゐる、最高速力一時間八十哩といふ速さを以て大シベリアの空を横切り僅四日餘りで我が霞ケ浦に到着するのであるから十九日未明には早くも我が帝國の上空に其の

勇姿を 現はす譯である、我が政府當局は午前六時に着陸せよとエツケナー博士に打電したと云ふ

之は長さ二百四十七メートル高さ三十五メートル、巾六十メートルの狹い格納庫に對しツエツペリン伯號は長さ二百三十五メートル、高さ三十三メートル半と云ふ圖體で一寸でも動搖すれば格納庫に突當る危險ある爲最も無風狀態の朝方を選んだのである

乘組員 一同は當日格納庫に納庫を終ると共に手入れを爲し夕刻霞ケ浦で日本酒と勝栗で航空隊の歡迎を受け第二日は飛行協會の有効章の授與及び歡迎宴、同夜帝國ホテルにて遞信、陸海軍、外務合同の歡迎會第三日はドイツ大使館のセレプシヨン、第四日は三菱の芝紅葉館に於ける歡迎會がある

京城の酷暑 九十八度餘

【京城特電十三日發】寒暖計の水銀は狂つたやうにグングン騰る、京城の十二日は正午既に華氏九十五度を示したが午後二時過ぎには九十八度、〇六といふ十年ぶりの記錄を現出した

燃料補給完了

【フリードリツヒスハーフエン十二日發電】ツエ伯號の燃料補給は今夜遲くまでには全部完了のはずである、併し組立工事の最後の仕上げは十三日夜までは完成されないらしい、ブラウ瓦斯燃料及び注油類の積載量は發表されない、之はイギリスで目下大飛行船二隻を建造中であるためである

虎疫の疑ひ 支那汽船の入港

營口で乘組員が急死 寺兒溝沖に假泊檢便

コレラ來の際に大連市は各方面を擧げて防疫事務に多忙を極めてゐるが、十三日又々

奇怪な 船が營口より入港した

即ち十一日上海より營口に入港した支那汽船海順號乘組員支那人李某は營口入港に先だつて原因不明な急死をなし、營口入港と共に支那檢疫員の檢死を得たがその際眞性コレラとによつて死亡したものと診斷されたが、その後又同人は阿片癮者で日射病によつて死んだものだと訂正を申込んで來たので愈々

死因が 怪しくなり營口警察署においては同船が十二日午前十一時營口發大連に出帆と同時に各地に手配するところあつたが、海順號は李某の死體を營口で始末の上十三日早朝入港した

海務局では手配によつて菊地檢疫醫出張調査の上萬一を慮り船客八名乘組員六十六名より

檢鏡す る事となり一先寺兒溝沖に假泊せしめた、因に同船は上海、營口、大連の三角航路就航船であると

試煉と經驗を重ねて 定期航空路を開設

全コースに凡ゆる難關

【フリードリツヒスハーフエン特電十二日發】第一船長レーマン氏は更に語る

獨逸より東京に至り更に大西洋を横斷してレーキハーストに歸着する迄の全コース中には北半球の凡ゆる天候と凡ゆる航空上氣象上の變化に遭遇するであらう、第一シベリヤでは北極圏の南端を掠め東部亞細亞の山脈地方では一帶の濃霧を

突破し 日本海上空はあたかも此の時期は常に颱風の危險がある、更に太平洋上では頻々たる天候の激變に見舞はるべく、北米上空では又颱風やスクオールに遭遇する惧れがある、今回の飛航は我々の目的に對する研究的飛行で我々の第一目的は先づ一定の地域に於ける天候を征服し得べき飛行船の試驗を爲し然る後此の地域に定期航空路を設定せんとするにある即ちツエ伯號の機關其他凡ゆる點に就き

詳細な 試煉と經驗を重ね以て旅客、貨物、郵便物の航空輸送に就て徹底的且つ經濟的航空路を設定せんと希望してゐる、最近二回の大西洋横斷は猶ほツエ伯號が改良さるべき點あるを示してゐた

灣內定期航路に割込み運動

宇田商會の支配人が獨立し水上署に許可を請願

市内北大山通宇田商會は關東廳より年々一萬四千圓の補助金を受け柳樹屯、大孤山、長山列島間の定期航路に當つてゐたが最近に至り同商會支配人乃木町十番地佐藤清造氏が獨立して同氏所有の快進丸快走丸の二隻をもつて、他に同航路就航に當る事となり目下頻りと當地水上署に許可方を請願中であるが水上署としては例の輪船公司對草分會の苦い經驗もある事とて競爭に陷らん事を恐れ佐藤氏が獨立する裏面の理由その他につき目下調査中である

夕涼み 探偵綺譚 【八】

噂の一萬圓に誘惑されて 藝妓の父親を殺す

宏濟彩票から慘劇

「大連の魔物」との世評があつただけに、宏濟彩票には種々な奇談や、犯罪や、弊害が伴つてゐた。これはその遺された數多い物語の中で、最も醜い運命的な災難に遭つた當時の高檢藝妓初子の父の非業の死に關する犯罪記錄である。

◇　◇

當時の大連は全市を擧げて寄ると觸ると、彩票の話しで持ち切りの有樣であつたが、その頃誰云ふとなく高檢の初子の父に頭彩の一萬圓が當籤したといふ噂が傳はつたものである。すると間もなくその噂の主の初子の父が、或夜信濃町の自宅に熟睡中を何者かに慘殺されてゐたのを翌朝になつて發見された。

◇　◇

例に依り警察が晝夜寢食を忘れて犯人搜査に努めた結果、秋田材木店の雇支那人が疑ふべからざる下手人として檢擧された。支那人は右の頭彩一件の噂をきいて俄に恐ろしい慾心を起し一萬圓を盜む積りで彼れを慘殺したのだつたが噂は噂に過ぎず一萬圓當籤は全く嘘であつた事が兇行後初めて確められた。たとひ事實であつたにしても、それが爲めに殺されては間尺に合はぬのに、跡形もない風評が原因で支那人蠻に殺されたとあつては全く氣の毒だと頗る世間の同情を惹いたが、當人は憾る慘死を遂ぐべく兇星の下に生れたのだらう。

◇　◇

同じく慘死でも加害者が野獸性を帶びた支那人だと、何となく毒蛇か狂犬にでも咬まれて死んだよりも諦めが惡からうと被害者に對する同情は一層深い譯だが、今思出しても他人事ながら無念骨髓に徹するのは、同じ頃西公園內で支那人の毒牙に罹り、蕾の花を滅茶苦茶に弄ばれ蹂躙された當時西公園町に住んでゐた某邦人の愛孃で六歲になる少女の凌辱慘死であつた。加害者が支那人である事丈けは略見當がついたけれども、犯人は未逮捕のまゝ十數年後の今日に及んでゐる。從つて犯人は今も大連市中を大手を振つて横行しつゝあるかも知れないのである。

全國中等校野球大會

鳥取一中勝つ 秋田師範慘敗

【大阪十三日發電】大阪甲子園に於ける中等學校野球大會は本日より開始されたが鳥取一中對秋田師範は鳥取先攻にて九時開戰十二對零にて鳥取一中の勝ち十一時二十分閉戰した

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
先攻 鳥取	2	2	7	0	0	0	1	0	0	12
秋田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
市岡	0	8	0	0	1	0	0	1	1	11
青島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

慈惠資金で光明の世界へ

愈よ失明者の手術 場所と日割決る

關東州慈惠財團にてはかねて恩賜の慈惠資金を以て暗黒界に惱む盲目者を救ふ可く計畫し民政署に盲目者の調査を依頼中であつたがいよ〳〵大連醫院眼科主事森博士を主として、左の場所及び日割にて檢眼及び手術を施す事になつた

九月一日金州公學堂　同九日普蘭店公學堂　同十五日貔子窩公學堂　同二十二日旅順公學堂　同二十九日大連民政署

弓道選手來る

十四日入港のはるぴん丸で牛弓會本田利時、大內、福島氏等約十五名が來連し約二週間各地に轉戰すると、同會は弓道竹林派の名手本田利實氏の門下生で組織され本田氏は東京帝大、國大の教師、大內福島氏は學習院の教師である

支那人の大賭博 開帳中踏込む

十二日午後五時頃市內三寶町四番地黃仁方廣庭に於て支那人二十數名各車座となり牌九と稱する大賭博開帳中の由聞込み小崗子署中島巡査部長外三名の署員跳び込み大捕鬪の末張緒仁(三〇)白雲發(三〇)吳大論(三〇)の三名及び見張の役を勤めて居た宏濟街三二孫庭芳方娼婦張少輩(二〇)を逮捕引上げたが彼等は何れも野菜行商人又は遊び人で目下逃走中の連類二十名も今明日中には一網打盡に擧げられる模樣である

娯樂機關を完備した 大連遊園地の計畫

電氣遊園の無料貸下げを受け 資本金二百萬圓で

今回柴田一郎、田中宇一郎、今井行平、小川慶次郎、竹中照藏等四十三名發起人となつて大連市民を更新の生活へ導き活躍の意氣を涵養する娯樂機關を設け思想善導を基礎に置く民衆慰安の設備をなして嚴寒の節と雖も市民一般老幼男女が嬉々として相集ひ室內運動の出來るやう資本金二百萬圓で商事會社を組織し現電氣遊園地の無料貸下げを受け大連遊園地を創設すべく計畫を進めてゐる

施設の 內容は室內および室外に區分し、室內には宴會場、食堂、映畫館、ケーキホール、音樂堂(又はダンスホール)理髮および美粧室、寫眞館、圍碁、將棋、麻雀倶樂部、撞球場、うどんそば屋、浴室（以上は日本人および外人本位の施設）茶館支那風呂、支那映畫館、支那芝居場、支那料理店、パノラマ、玉コロガシ、射的場等の娯樂場（以上は支那人本位の施設）兒童遊戲娯樂場、兒童クラブ、兒童圖書館（以上は兒童本位の施設）また

戸外に は動植物園（但現在のまゝ）ケーブルカー使用展望塔、電氣式飛行廻轉機、乘馬場大弓場、體育室、スケート場および滑臺を設備する

なほ連鎖商店向側道路に沿ひ三階建興行六間の店舖約二十戸を建築し市街に美觀を添ふべく資金は東拓または適當な方面より金融を受け純益は遊園地經營の補助に當てるもので實現の曉は目下建設中の連鎖商店と兩々相俟つて附近一帶に目覺ましき繁榮を招來するであらうと云はれてゐる

海拉爾一帶に大洪水襲來

作物全滅し鮮農困窮

【滿洲里十二日發電】三日來の豪雨の爲海拉爾一帶大洪水農作物全滅鮮人農夫三百五十名は食物無く路頭に迷ひ悲慘を極めてゐる

狂言から 阿片自殺 遂に鮮女絶命

十三日午前三時ごろ大連逢坂町一〇八貸座敷漢城樓こと趙熙緯の妾金貴児(二三)が二階十疊の間に於て阿片を嚥下し苦悶し始めたのを夫趙が發見し小崗子博愛病院に收容し應急手當を施したがその効なく同六時四十五分絶命した

原因は前夜趙と喧嘩をし口汚なく罵られたのを憤慨し狂言に嚥下したのが失敗したものである

珍らしく賑ふた

けふの定期船出發

十三日の出船はるぴん丸で陸軍の異動によつて陸軍大學に榮轉する事となつた柳樹屯旅團長の小杉武司少將は

こちらに來て僅か百日たらず恰でお世話になりに來た樣なものです、この間公私共に色々御厚情を蒙つた事を感謝します

と語り乍ら同じく人事局附に榮轉の高田友助大佐と見送りの陸軍關係者に別辭を交し、關東廳の人事異動で長い間の官吏生活をサラリとすてゝ浪人となつた助川德是典獄「田舍に歸つて百姓でもしますよ」と之も多數の見送り客に取卷かれてゐる、又一方では關東廳より歐米出張を命ぜられた長澤大連土木出張所長もテープの綾に埋られ乍ら「九月十三日横濱出帆のコレヤ號で出發します」と重顔を輝かす、また團體では大阪西華女學校の生徒三十五名、大汽邑山丸受取船員一行十三名、夏枯に珍しい顔ぶれを揃へて出帆した

墮胎女を起訴

墮胎の被疑者として大連署の取調べを受けてゐた櫻花臺一四四嶺前莊南二三號大連市役所吏員佐藤榮(二三)は遂に墮胎の目的を以て早期破水を爲したるものとし十三日一件書類を檢察局に送られた

沙河口署長

久下沼新沙河口警察署長は十四日十六時五十二分沙河口驛着赴任の筈、尚十三日本紙朝刊に長山前署長の出發は十五日二十一時發とあるを右は十五日九時發の誤りである

猛獸狩映畫

十二、十三の兩日協和會館に於ける輸入組合消費組合、連鎖商店三組合主催の組合員慰勞映畫會の第一日は來觀者多數で盛會を極めた同映畫は商店經營者の參考映畫もありアフリカ猛獸探險記は秩父宮、同妃殿下を始め高貴の台覽を賜はつたもので又と得難き教育參考資料である

南船北馬

◇……十日の午後十一時半頃新義州の水產會社水貯藏倉庫が大音響と共に倒壞し櫻町遊廓附近の事とて大騷ぎをした【安東】

◇……奉天驛の南方で支那人兄弟が瓜の行商中露人工夫が瓜をおとして割つたので喧嘩となり露人は熊手で支那人の頭を割つた【奉天】

◇……瀋陽の平康里で華娼が馴染客と去る十日の夜鴉片心中をしたといふので大評判である【瀋陽】

杵屋佐吉の特別演奏會

長唄界の新人杵屋佐吉一行の長唄演奏會は今明日兩夜限り大連劇場に於て開催の豫定であつたが、當地同好者の懇望により滿鐵社員倶樂部後援の下に來る十五日午後七時半から滿鐵協和會館に於て左記番組により特別演奏會を催すことになつた

▲越後獅子▲筑摩川▲秩父の長者▲新浦島▲三絃主奏樂ベニスの夕べ、蝶

新滿鐵首腦者へ滿洲財界の要望
各方面の有力者の意見

山本、松岡正副總裁は愈々十二日を以て正式に辭表を提出したので其後任總裁として政府は元鐵道大臣仙石貢氏を任命する事に決定、十三日その御裁可を仰いだ、副總裁の任命に就いてはなほ未定なるも恐らく兩三日中に決定するに至るべく此の際我滿洲經濟界の人達が新滿鐵首腦者に對し、果して如何なる要望を有して居るか——それに就き各方面の意見を列擧して見れば左の如くである

緊縮政策で實力の涵養を
超政派的滿蒙の經營を希望
武安鮮銀支店長談

技術家としての知識を多分に持つた人で、鐵道を生命とする滿鐵總裁には無二の適任者であらう、私は金融業者の立場から新總裁に望むことはないが、濱口內閣の緊縮政策の意を體し、他日勇躍すべき餘力を此時代に養ふと同時に政黨政派を超越して過らざる滿蒙經營に當つて貰ひたいといふ事である

滿蒙鐵道問題の解決を期待
斯道の權威仙石氏に
西山正金支店長談

事業家であつた山本前總裁の後へ鐵道通の仙石氏をもつて來たところに對照の面白さがある、仙石氏は工學博士の肩書きをもつた技術屋さんで曾て氏が若槻內閣の鐵道大臣の時箱根トンネルの掘方が惡いといつて專門家を叱つたといふ話を聞いたが、大膽にして細心なところがあり普通大臣が持たない識が滿鐵總裁にならうとも我々在滿人が望む點は合理的緊縮の半面に儲かる仕事はドシドシやつて貰ひたいといふことだ、しかし山本前總裁が計畫していつた製肥、製油、製鐵の三大事業が果して儲かるかどうかは、專門家でない僕には分らぬから、これを仙石新總裁に承繼しろと望むことは出來ぬ、だが算盤を彈いて儲かる事業であれば政黨政派を超越して國家の爲めに努力して貰ひたい、仙石總裁は鐵道院總裁、九州鐵道社長、鐵道大臣等を歷任した鐵道通であるから山本前總裁によつて手がつけられなかつた滿蒙の鐵道問題解決のうへに我々は少なからず期待をかけてゐる、それに仙石さんは民政黨の大久保彥左といはれてゐる淸廉潔白の士で滿鐵總裁としては最適任者を得たものと思ふ

希望は云へない
山崎取引所長談

取引所長として新總裁に對する希望等は云へない、又自分は政治家ではないから緊縮政策がよいとも惡いとも云へない、しかし氏は鐵道には詳しいから滿鐵總裁としては適任であらう、自分は眞面目に

前任者の計畫遂行を
原田耕一氏談

自分に與へられた仕事をする人を希望とするのみだ

仙石氏の滿鐵總裁就任は全く意外であつた、しかし鐵道事業に關し第一人者たる氏を迎へる誠に結構なことで、更に副總裁として傳へられるが如く大平氏が任命をみることになれば滿鐵に經綸のある人であるから申分のない組合せで、兩氏共山本、松岡前任者、大きな計畫を遂行するによき後繼者であらう、滿鐵株の如きも一般株式の低落と共に時節柄下押を示してゐるが漸次好感的な引締りを示すのではあるまいかと考へる

國家的事業の遂行を切望
寺田三菱支店長談

仙石氏は單に官界出身といふよりも多年實業方面に經驗ある人で、古くから鐵道事業に關係され殊に前鐵道院總裁及前鐵道大臣の經歷を有し斯業の權威者でありそれに一般から淸廉潔白な人格者として認められてゐる人であるから滿鐵總裁としても最も適任者であらうと思ふ、更にこれに配するに副總裁として滿鐵事業に經驗ある大平氏を据へたことは申分のない組合せで必ずや立派な仕事をされるであらうと信ずる、只此の際吾々の希望するところは新任總裁としての方針もあらうが、山本氏の計畫された滿鐵の三大事業の如き國家的事業は根本的に覆へされることなく事業遂行に努力されんことを期待する次第である

氏一流の施設に期待
平田國際常務談

仙石氏が老齡を提げ滿鐵總裁の激務を受諾したのは全く國家に對する御奉公の一念から出てゐることゝ思ふ、鐵道に就て精通して居る氏一流の施設は期待すべきものがあらう、滿鐵總裁の最適任者として今後氏の敏腕により解決すべきものが尠くないと思ふ

生產事業の積極的進出を
不生產的方面の緊縮を歡迎
石田三井支店長談

仙石さんの滿鐵總裁？適任ですネ手腕、見識、人格の點といひ、誰か双手を上げて歡迎せぬはなからう、現內閣の緊縮方針は苟くも日本の現狀を知り前途を憂ふる者であつたなら、之に共鳴し、この精神に據つて總ての事業を處してゆくことが國民としての義務であると思ふ、緊縮政策とは、つまり消費の合理化といふことで採算の取れる事業までやらないといふことではない、吾々の仕事にしても經費計り節減したところで一方積極的の活動をしなかつたならそこに進步がなく、行詰るであらう、この意味に於て滿鐵新總裁に望むところは、不生產的方面に極力緊縮方針を斷行し、一方採算の取れる生產事業に對しては積極的に進むべきで、國策の見地からも是非實行されたいと思ふ

團體めぐり
豆粕混保制度に意外なる故障
試驗的實施で得た種々の經驗
◇……滿洲重要物產組合(十)

◇そこで組合ではこの豆粕混合保管制度の採用について豫じめ楢崎埠頭事務所長と內談し略その承諾を得るに至つたので更めて正式の申出でをなした結果、大正二年の十月から同三年四月末迄を一期とし、十二月一日より試驗的に實行することゝした。所が實行上最初の取扱方に不便の點があつたので開始後約十日目に埠頭事務所員、組合員及び油房等の代表者等が會合研究した結果、檢查方法に就き大改訂を行つた。

◇しかし折角の混保制度も最初の內は一部の人の利用するのみに止まり、一般には餘り利用されて居なかつたが、漸次其便を知つて利用者も增加して來た。然るに大正三年三月の總會を開いた際、東京大豆粕聯合會から豆粕缺斤物について苦情の照會が來たので、これに基き研究の結果檢查方法につき大改良を施して此の制度を總てに應用せんとするの議が生じて來たそこで其の後埠頭事務所員列席の上種々熟議を重ねる所あつたが、その結果は受入檢查に際し、製造後の時限に關して乾、濕、冷の三種に區分して合格斤量に差等を附することゝした。

◇尚該定率については研究の上一定率を作り、改めて滿鐵運輸部の承諾を經て、其年の六月六日より大連生產の豆粕には全部總混合保管を强行することにした、即ち此制度によれば合格品は其の儘にしておき、不合格品には符合を附することゝしたので、一見よくこれを分別することが出來るやうになつた、それに就ても最初は多少の行違があつたけれども、油坊としては眼前に需要のないときに於ても、採算上有利である場合は製造し、これを埠頭倉庫に預託すれば一枚の保管證によつて、自由に金融の目的物件たることが出來るばかりでなく、又一方貨物は何時でも證書一本で新規なものを得るといふ便宜があつた。

◇即ち全部混合保管にすれば埠頭では適宜轉換して積出すことが出來るので、證書の新古は貨物に關係ないものとなるのである。此便法はやがて全取扱商の歡迎を受けて日ならずして之を利用する者が多くなつた。しかし何事も一利のある所に一害あるのはやむを得ない處で、此に意外の故障を生じて來た。

◇と云ふのは金融上の便益は、やがては製造の過多を誘因し易く、從つて新舊轉換も普通の場合には順調であるけれども、貨物滯貨の場合は自然に日を經たものが甚だ多くなり、從つてこれも理想的でなくなり、特に歐洲戰前就中大正四年末より豆粕の堆貨が意外にも激增し、これが處置につき一時當業者間の大問題となつたことがある元來大豆は左程でもないが、豆粕は乾濕の如何によつて斤量に增減を來すこと著るしいものである そこで大正五年七、八、九の三ケ月間は混合保管を中止し、その間は大豆同樣の檢查を受くるのみに止め、やうやく混保としての堆貨を一掃することが出來た。

◇かくの如く堆貨を一掃するため大正八年迄は每年の夏三月間は混保を中止してゐた。しかしこれでは不便といふので、この三月間は減少する量の約半斤だけをつけ加へさせて受付けることに決定した。かくて混保は豆粕の品質斤量を統一する上に於て、これより最上の方法はなく、實に理想的のものとされて豆粕に對する多年の懸案を解決した譯である。

閑散な安東の商工界
七月の驛發數量激減す

【安東發】夏枯期に入つた安東の商工界は天候の不順と共に七月中旬から著るしく閑散を呈した豆粕の一段落に次いで木材が梅雨期に入りて必然的に不況を示し穀物不振綿糸布の一服等殆ど目先活氣を帶るものもなく愈々夏枯のドン底に這入りつゝある、試みに七月中の安東驛における發送數に見ると總發送量一萬八千七百九十六噸で其の各線別に示せば(單位噸)

線別	小口扱	車扱
朝鮮鐵道局線	八三二	五、四三〇
价川鐵道	一六	一三九
社線	一、四七九	一〇、〇六八
大連汽船線	二	三四八
濱陽線	二三〇	―
四洮線	三〇	―
吉長線	三	―
東支線	三	―
合計	二、三六八	一六、〇六八

これに前月の

小口扱	三、一四八
車扱	一八、七三四
合計	二一、八八二

に比較すると小口扱に於て八百十噸の減少、車扱貨物は二千三百餘噸の激減を示し、結局總量からは三千一百餘噸の減少を呈してゐる

金勘定激減 預金貸出共に
銀勘定は露支關係で增加
七月末大連銀行帳尻

大連組合銀行七月末の金銀帳尻は左の如し(單位千圓)

	預金	貸出
金勘定	一四四、六一〇	九六、三三二
銀勘定	三一、〇四一	五、八三三

これを前月に比すれば金勘定では預金千五百八十二萬三千圓、貸出百八十萬五千圓の激減、銀勘定では預金四百十六萬四千圓、貸出十三萬三千圓の各增加を示した、右の如き金勘定の著減は夏枯閑散の深刻を現したものであるが、これに反し銀勘定の增加は露支關係による錢鈔及び特產市場の取引增加に因るものと見られる、さらに前年同期に比すれば金勘定では預金千九十二萬五千圓、貸出二千六百三十萬三千圓の各激減を告げ、銀勘定では預金七十二萬八千圓の減少なるも貸出では四十九萬八千圓の增加を示してゐる、各行別に內譯を示せば左の如し

金勘定(單位千圓)

行名	預金	貸出
鮮銀	[illegible]	[illegible]
正金	[illegible]	[illegible]
滿銀	[illegible]	[illegible]
商業	[illegible]	[illegible]
中國	[illegible]	[illegible]
滙豐	[illegible]	[illegible]
花旗	[illegible]	[illegible]
交通	[illegible]	[illegible]
金城	[illegible]	[illegible]
麥加利	[illegible]	[illegible]
合計	一四四、六一〇	九六、三三二

銀勘定(單位同上)

行名	預金	貸出
鮮銀	[illegible]	[illegible]
正金	[illegible]	[illegible]
滿銀	[illegible]	[illegible]
中國	[illegible]	[illegible]
滙豐	[illegible]	[illegible]
花旗	[illegible]	[illegible]
交通	[illegible]	[illegible]
合計	三一、〇四一	五、八三三

改良大豆出廻の助成規則を改正
從來一車十八圓を十五圓に引下げる

滿鐵農務課では昨年度新豆出廻りより改良大豆獎勵の爲め出廻り助成金制度を創設し合格品一車毎に金十八圓を交附しつゝあつたが成績極めて良好で、昨年度の如き約八百車の總出廻り數量中約六百車の合格品を出した程であるが、農務課では右好成績に鑑み且つ出廻り數量が今後累年幾何級數的に增加することが豫想されるので近く改良大豆出廻り助成金規則を改正して合格品一車に對する助成金額を十五圓とし、本年度も引續き出廻り助成をなすことに決定したが、昭和四年度の改良大豆の出廻り合格數量は昨年度の約四倍二千五百車內外に達する見込みである

黄菫

◇…緊縮內閣の奧の院仙石老の總裁受諾は意外だ私かに期待して居た連中も開いた口が閉がるまい

◇…だが思ひがけない大久保彥左の出馬では並び大名、旗本連も表向には文句が云へまい。

◇…若し、大平氏の副總裁が噂の如く決定するとせば、事實上の總裁は大平氏で、仙石氏は名譽總裁か。

◇…まあそこらだらう、今更御老人をさうさう煩はすでもあるまいからね。

◇…とは云へ往年の鐵道省は雷大臣に慄え上つたものだ、こんどはまた雷總裁に慄え上るものもそこらに大分あるだらう。

◇…局課の整理、冗費の節約、パスの制限等々、果して何う云ふ風な鉈が揮はれるか。

◇…鐵道政策では玄人中の玄人たる總裁の手腕など今更云爲する必要はない。

◇…吾等は寧ろ此の前何にもしなかつた大平氏の今後に對し期待を有つ。

市況

特產 品薄を强材料に高粱昂騰

錢鈔 材料安乍ら銀價强調

商品 前場

株式
內地低落に當市も軟調

北濱諸株は軟弱新東の短期一圓十錢安を入れて當市の五品は直定期共三十錢安と軟調を辿り新豆錢鈔も三四十錢安を示した現物の大新は九十錢安新東寄一圓四十錢安引一圓安鐘新は一圓三十錢方低落した出來高定期二百十枚現物五百九十枚

株

今朝北濱諸株の軟調東京新東短期の一圓十錢安を入れて當市も人氣益々銷沈し五品錢鈔新豆共三四十錢安とヂリ安商狀を辿つた▲當市は連日お話しにならぬ閑散振りを示してゐるが最近內地から歸來した人の話によれば東西兩市場ともやはり同じ事で市場の人氣は全然離散の形とある▲もつとも所謂閑散に竄なしで纏つた賣物もないが商內が次第細りに細つて行くので相場は自然ヂリ貧商狀を辿る外ない狀態である▲滿鐵總裁も愈々決定したらしいが仙石氏なら鐵道事業の權威者だからドシドシ鐵道本位の政策を行ふに違ひない滿鐵株の如きも時節柄幾分下落を示してゐるが漸次好感的な相場を現はすに違ひないといふのが市場の觀測である

豆

銀市の强調も響かず各品共に强調を呈した▲高粱は相變らず品薄を强材料として近物一段と昂騰▲大豆も長春ハルビン地方の降雨に作柄氣づかはれて▲賣りに出てゐた奧地が逆に買に出でた爲め、强調を辿つた▲當分は何分靴り商狀を呈するだらうと見られてゐる▲豆粕を壓迫しつゝあつた硫安がこんどはアンモホスを主成分とする合成肥料に依て驅逐されさうだ▲現在內地の需要も急激し現在約六萬噸も使用されてゐる

正隆支店長會議
けふから開催

正隆銀行では十三日から三日間支店長會議を開催してゐるが、高當務就任最初の會議で營業方針に關する相當重要な打合せがある模樣である

上海爲替情報

材料高なるも寄前金物品筋よく買たるため安寄り安値志豐永、大康源茂永の買とルター一高を入れ人氣良好なりしも一般下替成の折柄引値には大德成、源盛永マバラの賣多くあと神戶不變を入れて大通銀行圓よく賣りたるため下押し三井圓安値よく五十萬買に引戾保合市況概して戾賣人氣

上海標金

寄値	三九六兩三
高値	三九六兩八
安値	三九七兩八
引値	三九六兩三

爲替相場(十三日正午)

正金(銀勘定)
日本向參着賣(銀買) 八九圓〇〇
同 十五日買(同) 九〇圓〇〇
上海向參着賣(銀買) 七三兩三〇
倫敦向電信賣(銀) 一志八片十六分九
同 二ケ月買(同) 一志九片八分一

正金(金勘定)
倫敦向電信賣(圓) 二志十一片八分一
信用付二月買(同) 二志十一片十六分十一
米國向電信賣(百圓) 四六弗四分三
同九十日拂買(同) 四八弗〇分〇

鮮銀(金勘定)
倫敦向電信賣 [illegible]
同 二ケ月買 [illegible]

手形交換高(十三日)

	枚數	金額
金	一、三六九枚	四、八〇〇、四九九圓
銀	三三〇枚	三、〇〇八、九〇〇圓

大阪期米 / 東京期米 / 大阪三品 / 大阪綿花 / 横濱生糸 / 神戶豆粕 / 印度麻袋 / 東京株式 / 大阪株式 / 市場電報 銀塊及爲替 / 棉花 / 奧地市況

[illegible]

平安異香 (79)

業多默太郎作
中一彌畫

獄中記(二)

あらゆる災害は不測不知の間に用意され、盗人のやうに忍びよつて忽然人を陥れる。待て暫しのあるものでない。が、同時に幸福もその通りだ。何時何處に用意されてゐるか分らないものに相違ない。不遇に泣いてる時、その戸口に喜報が立つてゐるかも知れない。

全ては天意だ。何事も天意だ。しかして天意は測り難く知り難しだ。失望してはいけない。

人間は息を引とる瞬間まで決して失望すべきでない。

幸は、どう考へても清淨な處女のまゝではゐないだらう、既に體は汚され魂には一生拭へないしみをつけられたに違ひない――とは思ふものゝ、天意は測り難く知り難しだ。幸の上に墜ちかゝつた災害が、一日前まで豫測出來なかつたと同然に、測り難い救ひが幸の爲に用意されてゐて、未だに純潔な昔の幸で、何處かで俺を待つてゐるかも知れない。

この俺にしても、地の底のやうなこの牢獄を、生きて再び出られるとは考へられないのだが、決して絶望してはいけない。何時何處に救ひの道が開かれるかも知れないのだ――。

發狂するだらうと牢番に噂されてゐた春光が、涙の底から起きあがつた時には、かういふ一つの確信を掴んでゐた。

これが瀕死の囚人に希望を與へ狂ひかゝつた魂を平靜に戻したのだつた。

この時から春光の様子は一變した。顔色がよくなつて元氣になつた。とても無期の囚人とは思へない朗かさだ。

「變な若僧だなア。どうも一風變つてゐる。こゝへ來る奴は大勢あるが、あんなのは見たことがねえ人の顔を見りやにこ〳〵してやがるし大飯は食ふ。變な新手の氣違ひだなア」

牢番人はそんなことを云つてゐる。

さて、話は前回の冒頭に返つて――。

今は晩春のうらゝかな晝である陽光の滿ちあふれた濃い空を仰いで、糒と干物を食つてゐる春光――。

春光が目をつけてゐるのは、その碧空に舞つてゐる一羽の鷲だつた、懐しい陽の光を身體一杯に浴びて、ほしいまゝに大空を飛んでゐる鳥を見ると、流石にうらやまれて、

「飛べるものならなア」

と呟かれた。で、鳥から目を離すことが出來ないのだつた。

そのうちに、ふと、その鷲が翼を反したと見ると、流れ矢のやうにこの幽谷に向つて落ちて來る。

どうしたのだらう?――。

見ると、春光の牢に向きあつた向ふ側の穴牢の前に何といふのか雀ほどの小鳥が群て下りてゐる。囚人の棄た糒を食つてゐるのだらう。が、鷲の羽搏ちを聞いて、小鳥の群はパツと飛立つた。

ヒラツと鷲は立直つて、疾風――小鳥を追つてすぐ岩蔭に見えなくなつたのだつた。

が、その時、春光の、もぐ〳〵やつてゐた口がひき緊つて、じつと考へこんだ様子だつた。そして

「やつてみるか」

と呟く。

「やつてみよう。事の成否は天意にあり。たゞ人間の力を盡して…」

何を決意したのか知るよしもない。が、その日から始めた仕事を見れば自然に解ることだ。

まづその夜、晩飯の粥を囚人に配つて小屋へかへつた六藏といふ牢番が、朋輩に云つた言葉を聞いてみよう。

「あの若僧はやつぱり氣違ひよ。俺の顔を見てゲラ〳〵笑ひやがつて、尻をまくつてペタ〳〵叩いてみせやがる」

次の日六藏が又云つた。

「あんなに一粒もあまさず食つた奴が、今日糒をバラ〳〵外へ撒き散らして喜んでやがる。いよいよ氣違ひになりましたと閻魔様へ知らさなきやなるまいよな」

閻魔といふのはこの牢役人のことだらう。

すると夕方、また六藏――。

「あの氣違ひ野郎、糒を拾ひに牢へ飛込んだ山雀を一生懸命に追ひ廻してやがつた」

觀世流宗家藤波淺見兩氏の歡迎謠曲會

今夏滿洲の謠曲界は例年曾て見ざる活氣を呈し、曩に寶生流の權威松本長氏の來滿を見、同流渇仰者の溜飲を下げたが今般更に寶生流の松本氏にも匹敵すべき觀世流宗家の高弟藤波順三郎氏、及其令兄淺見重壽氏外三名の師範家一團となり滿鮮視察を兼ね來滿を機とし大連觀世流泉泰一朗、堀田勇、渡邊與十郎、高橋忠次良、中堂謙吉四氏發起市長外在連同好者多數賛助の下に來る十七、十八兩日滿鐵協和會館に於て謠曲會開催の筈で藤波淺見兩氏一行は奉天經由十六日夜八時半着連の豫定、當日の番組は左の通りである

▲十七日(午後七時)素謠、三輪(島田壽雄、泉泰一朗)俊寛(淺見重壽、藤波順三郎、德富卯之助、工一菊松)蟬丸(淺見、藤波、秦野富藏)安達原(德富、工一、秦野)祝言獨吟、杜若(堀田勇)鳥追舟(中堂謙吉)勸進帳(高橋忠次良)仕舞、百萬(渡邊與十郎)玉之段(泉)

▲十八日(午後二時)素謠、賴政(德富、秦野)井筒(泉、島田)隅田川(藤波、淺見、秦野、工一)絃上(藤波、淺見、工一、德富)祝言獨吟、花筐(中堂謙吉)定家一字題(高橋忠次良)鐵輪(堀田勇)仕舞、雲雀山(泉)熊坂(渡邊)

映畫と演藝

澤正の當り藝「髯の十左」を傳次郎が作る

日活の大河内傳次郎は志波西果監督で伏見直江と共演で佐々木味津三原作の「謎の人形師」に着手する筈であつたが、伏見の病氣で一時中止となつたので、これに代る作品は故澤田正二郎の當り藝であつた中内蝶二氏原作の「髯の十左」に決定する模様である

マキノ式トーキー續々製作

「戻橋」「俠艶録」等で國産トーキーの第一聲を擧げたマキノだけに續々發聲映畫を製作しつゝあるが、目下阪田重則監督が製作中の「靴の音」は「進軍喇叭」と改題して マキノ式トーキー第三回作品として九月上旬に發表する事に決定した。此の發聲映畫は凡ての擬音まで取入れた本格的オールトーキーである。尚マキノは從來も東條式イーストフオンを使用してゐないが、今後も絶對完全なるマキノ式トーキーによつて益々その效果を擧げてゆく事を聲明してゐる

明治四十年八月二十日 第三種郵便物認可

滿洲日報

愈よわが駐支公使館の上海移轉實現されん
今回の公使更迭を機會として
總領事二名を置く

【上海特電十三日發】南京遷都及び日支條約交渉の結果、北平公使館が事實上上海に移らんとする傾向は今回駐支公使の更迭を機會にいよ〱上海總領事館内に公使館としての内容をも具備せしめる計畫が進められつゝある、即ち公使は少くも條約交渉中は上海に常駐し、重光總領事は館長であると共に公使館參事官の職務を執り、別に事務總領事が置かれて結局上海には總領事が二名になることになり館務も公使館事務と總領事館事務とは嚴密に區分される模樣である、而して事務總領事にはロンドン大使館在勤一等書記官石井氏が擬せられてをりなほ一等書記官一名來任の豫定であると

双方あゆみより露支交渉成立せん
北平外交界では樂觀視

【北平特電十三日發】露支交渉に對し支那は當初から相當の讓歩を惜まず解決を期する決心を有してをり特に奉天側はその必要を感じてゐるのであつて交渉の波瀾を殊更に誇大に宣傳し強硬態度を裝てゐるのは主として對内的宣傳に利用してゐるに過ぎない、故に交渉は必ず成立するものと極めて樂觀してゐる、また

勞農側 に於ても最初要求した東鐵各機關に亘る現狀恢復及び逮捕露人の釋放等の實行困難なることは充分知つてをり、最近は原狀恢復の範圍をせばめ露人を正副管理局長に任命する位の程度に讓歩する模樣が明かに見えて來た要するに最近の交渉停頓が双方の

外交的懸引で あることは兩國ともよく知つてゐるのであるから、結局交渉は双方の歩み寄りによつて成立するであらうと當地外交界では樂觀してゐる

劉光氏哈市に向ふ
朱紹陽代表と協議せん

【吉林十三日發特電】蔣介石氏の代表として派遣された國民政府參謀本部第一廳長劉光中將一行が十日來吉したことは時節柄頗る重大視されてゐるが、軍署要人の言に依れば右一行の來滿は東北四省の對露邊防軍政治要求の實地視察が表面の目的である然し、奉天では張學良氏とまた吉林では張作相氏との間に殆ど絶望視されてゐる對露交渉の局面轉換策に就いて會議した事は事實であつて、更にハルビンに至り朱紹陽代表等と協議する事になつてゐるから之れによつて對露交渉は或は復活するであらうと觀られてゐる、劉中將一行は十日午後吉林クラブに於ける烈參謀長、宋副官長等の盛大なる歡迎宴に臨み十一日は龍潭山に登り一日の清遊を試み十二日朝八時吉林發ハルビンに向つた

交渉停頓の責めロシア側にある
支那側其原因を發表

【南京十三日發電】南京政府外交部は露支交渉停頓の原因として左の如く發表した

支那は最初無條件正式會議を主張したに對しロシア側は東鐵の原狀回復、正副局長の復職を迫り支那は東鐵が再び赤化宣傳の具に供せらるゝを恐れ拒絶せるも和平解決を圖る目的より讓歩し双方抑留人員を同時に釋放して正式會議に入るを提議したが、ロシアは依然前の二項を強く主張し遂に停頓したので其の責は全然ロシアに在る

勞農軍艦出動せん
交渉再開を見ざる場合

【ハルビン十二日發電】黑河の支那軍は目下七百に過ぎないが、ブラゴエスチエンスクのロシア兵力は四千を以て數へられ、同軍は航行する支那汽船に屢々發砲し抑留汽船を改名して使用しつゝあり、なほ黑龍江、松花江の合流點に在るロシア軍艦七隻は、來る十五日までに滿洲里に於ける露支交渉が再開せざる時は支那領水に砲艦を進擊せしむると囁いてゐる

流言蜚語に滿州里人心動搖
遂に戒嚴令を布かる

【滿洲里十三日發電】露支關係惡化に伴ひ

一、東鐵滿國從業員の總罷業に依る列車の運轉中止

二、ハルビン方面より物資供給杜絶

三、露國軍の攻擊

等の流言蜚語百出し人心動搖しつゝあるので、警備司令部は特別戒嚴令を布き支那側は官民協力して人心の鎭靜に努めつゝあるが、日本人居留民會は多量の食糧飲料水を貯藏し萬一の場合は日本領事館に籠城すべく備へてゐる

極東全勞農軍司令官任命

【東京十三日發電】モスクワ來電によればソウエート政府は現ウクライナ陸軍副司令官ワシリー、コンスタンチノウイッチ、ブルノチエル將軍を極東全ソフエート軍司令官に任命した

芳澤公使南京へ向ふ

【上海十二日發電】芳澤公使は十二日午後一時二十五分發で南京へ向つた、之と同時に蔣介石氏も特別列車で歸京し、芳澤公使は十三日南京で蔣介石氏と正式會見し離任の挨拶をなした上十四日南京發北平へ向ふはず

六國代表會商

【パリー十二日發電】十一日は日曜にも拘らず日英佛伯獨伊六國代表は去る十日惹起された感情的危機を除去せんとし會商したが多少良好の雰圍氣を作つたが大勢には變化なく依然として難關を脱しない樣である

財政委員會休會

【ヘーグ十二日發電】賠償會議財政委員會は英國代表スノーデン氏の要求に基き十二日正午を以て水曜日(十四日)まで休會された

英外相を調停者に決定

【ヘーグ十二日發電】賠償及び撤兵會議の政治委員會はラインランド撤兵問題に關し英國外相ヘンダーソン氏を調停者とするに決した

英國代表に訓電
賠償會議問題に關し

【ヘーグ十二日發】英國首相マグドナルド氏は賠償會議英國代表スノーデン氏に對し左の如き訓電を發した

若し賠償會議財政委員會が我英國の正當なる要求に應ずべく賠償案の再整理を必要とすべき事を同委員會の第一回報告中には必ず記載しなければならないと云ふ事實を最終的に諒解しなければ彼等は最も重大なる錯誤をなすものにして問題解決の希望を破壞すべきものと云ふべきである

調停に起つ
安達大使

【ヘーグ十二日發電】確なる筋への情報に依れば、日本代表安達大使ベルジユーム代表ウータール藏相は賠償金割當問題に關する行き惱みにつき英佛間に起つて調停の勞を執りつゝありと

鈴木參謀長等野外飛行同乘

【立川十三日發電】飛行第七聯隊の重爆擊機二機は鈴木參謀長第四部長小川少將等を乘せて十四日午前六時半立川發各務ヶ原に向け野外飛行を行ふ筈である

學務部長會議開催

【東京十三日發電】政府は來る二十三、四の兩日府縣學務部長會議を開く事になり本日地方長官に通牒を發した

國際會議の我代表決定
きのふ閣議で

【東京十三日發電】十三日の閣議にて左の決定を見た

一、國際勞働總會政府代表 吉阪俊藏 淺野平二 使用者代表 上谷續 勞働代表 濱田國太郎

一、九月五日開催の國際聯盟總會帝國全權を目下在歐中の柳澤保惠伯と決定

一、波蘭ワルソーに開催の國際航空司法會議に帝國代表として宮城控訴院長判事西川一男氏を派遣するに決定

神社制度統一調査會設置

【東京十三日發電】內務省は神社制度に關する根本的調査を行ひ神社法規の整備統一を期するため神社制度調査會を設置する事に決定し、右に關する成案は十三日の閣議に於て決定を見た、同調査會は內務大臣を會長とし專門家、內務、宮內、文部、大藏、貴衆兩院等より三十名の委員を選任する事になつてゐる

政友系前長官が總選擧監視
既に擔任區域を決定

【東京十三日發電】濱口內閣成立と共に浪人となつた前地方長官連の組織した月曜會は、政友會本部と聯絡を執り總選擧對策を練つてゐたが、今後の活動方針としては地方地盤の動搖防遏に努め愈々總選擧に直面した場合は、民政黨の故智に倣ひ全國各府縣に對し關係前長官を監視員として派遣する事とし既に其擔任區域を決定した

ラヂオを通じて政見の發表
ヤット我國にも實現
近く首相や藏相が放送する

【東京十三日發電】ラヂオを政治的に使用することは既に歐米等に於ては盛に行はれてゐる處であるが我が國に於ても愈々其の時期が到來せんとしてゐる、即ち近く濱口首相、井上藏相はJ・O・A・Kより放送することゝなつて居り、一方政友會も公平なラヂオの利用を希望する意見を發表した程で五十七議會の解散を不可避とすれば茲に總選擧を中心とする政黨のラジオ利用が當然問題となつて來る譯である、而して之に對する日本放送協會首腦部の意嚮としてはラヂオは一般社會の公器であるから一黨一派に偏すべきものではないが、最も公明に使用されることは少しも異存なしとしてゐるから次期總選擧からは愈々ラヂオを通じて各政黨の政見發表が實現するものと期待されてゐる

法權撤廢の條件に內治雜居を要求
米國の回答には明示しないが日本の方針は變らず

【上海特電十三日發】支那の治外法權撤廢要求に對するアメリカの回答は頗る長文のものであるが、內容は要するに支那が治外法權を撤廢するはワシントン條約及びそれに基く法權委員會の勸告事項實行を

先決問題 とし、支那にして夫等の條件を具備すればいつでも撤廢するといふに在り、それは支那現在の如き法典、司法制度不備なる狀態においては當分其實現困難なりといふに歸着するものである、而して此回答が發せられる前、列國會議にて日本は治外法權撤廢の條件として內治雜居を要求すべく明示することを主張して來たがアメリカの回答には

內地雜居 に關しては表面何等言及されてゐないので、其間に多少の疑問を招いたが、アメリカの見解によれば、ワシントン條約に基く條件の履行といふことの中には、內地雜居も當然包括されてゐるから、必らずしも言及するに及ばぬとせるものなること判明した然し日本は滿蒙に多數の

朝鮮農民 を有する等切實なる關係あり交渉行はるゝ曉には內治雜居を條件の一に明示する方針に依然變り無いと

在支外人保護の能力を疑ふ
米國の法權撤廢拒絶理由

【南京十二日發電】支那の領事裁判權撤廢要求に對する米國政府の回答は十二日午前外交部に到達したが、全文一千餘字に亘る長文で要するに領事裁判權撤廢に關する支那の要求を婉曲に拒絶したものである大要左の如し

米支兩國は交誼素より厚きも領事裁判權設置の當初を顧れば、そは支那の司法の不備と監獄の不良とに基くものであつた、而して今や支那は自ら監獄の改良を圖り法律の完成に努力し漸次其實を擧げつゝあるも、米國政府は今直に何時から在支米人の治外法權を撤廢するや約束するの自由を有せぬ、但し米國政府は本問題につき關係各國と同意志の下に貴政府との間に商議を開く事には欣然應ずる意志ある事を回答するの光榮を有し而して之に最も重要なる前提として國民政府の注意を喚起したき事は、支那が外人に對し十分其安全を保護する責任を負ふ能力ありや否やと云ふ點である事を特に附記する

關東廳內務局長後任問題

【東京十三日發電】太田關東長官は本日午後二時松田拓相と會見、關東廳內務、警務兩局長の後任問題につき打ち合せたが、太田長官は宮崎縣知事、石田馨氏を內務局長にすべく交渉せるも石田氏が辭退したので十四日更に安達內相と協議する筈である

辭令

【東京十三日發電】

關東長官秘書官 春日善之助

依願免本官

仙石新總裁への祝電で多忙
きのふの大連局

發表の前日まで巷間の噂にさへ上らなかつた仙石貢氏の滿鐵總裁後任に決定したとの突如の發表は濱口內閣人事行政上の一大傑作として滿洲では勿論東京に於ても本紙夕刊所報の如く各方面共好評嘖々の有樣であるが、昨朝本紙が右の特電を逸早く號外にて報道するや仙石氏の同鄉人、緣故者、舊部下等にして大連在住の人々は朝來我れ先にと電信局に馳け付け其就任を電報を以て祝する者多く、中には未だ內定とのみ傳へらるゝ副總裁候補の大平駒槌氏に對してすら既に確立したものゝ如く喜び、逸早く祝電を發する人々もありこれが爲め大連局は時ならず多忙を極めたものゝ如くである

裁兵費金策難で宋氏の留任困難
蔣氏の地位にも影響

【上海特電十三日發】財政部長宋子文氏は蔣介石氏の慰留により留任歸京することゝなりその旨南京政府に報告したが、宋氏が果して永く留任し得るや否やはなほ疑問とされてをり、當面の問題としては、裁兵公債による金策如何がその關鍵であるとみられてゐる、蔣介石、宋子文兩氏の上に財政問題に關する複雜な事情あり、その問題の發展如何によつては宋氏は勿論蔣氏の地位にも影響せざるやと憂慮されてゐる、蔣氏が昨夜南京に歸つたのは芳澤公使の正式訪問を受くるため一時歸つたものに過ぎず、難問題は依然として殘つてゐるので蔣氏は近く再び上海或は鄉里寧波に退避するであらうといはれてゐる

前總裁の計畫を踏襲し使命遂行を希望す
三土前藏相の仙石新總裁評

【東京特電十三日發】滿鐵は單なる營利會社でなく滿蒙開發の中心機關たるべき使命を有す、いま仙石君のやうな學識、經驗の富んだ人が奮起されたことはわれ〱も深厚なる敬意を表する次第である滿鐵首腦部はこれまで必ずしもその人を得たとはかり考へられぬ場合があつたが、前山本總裁は比類のない名總裁で天下、齊しくこれを認めたところである、仙石君もその計畫を踏襲してます〱滿蒙開發の使命を全うされんことを希望してやまぬ

副總裁後任首相ら協議決定
青木周三氏若しくは江口定條氏說傳へらる

【東京十三日發電】滿鐵總裁は仙石氏に決定し十四日任命される事に決定したが、副總裁後任に關しては、濱口、松田、仙石氏等の協議により決定さるべく、その副總裁に就ては從來佐竹三吾、大平駒槌兩氏が有力であつたが右の兩氏は片岡氏に伴ふものであり仙石氏の就任を見るに至つた以上右兩氏の副總裁說は消滅し尠くとも佐竹氏は絶望と見られてゐる、而して仙石氏は鐵道次官青木周三氏と特殊關係ありこれを副總裁として起用するに非ずやと見られてゐる、一方仙石氏は今朝三菱銀行取締役江口定條氏を私宅に訪問し(同氏不在のため會見しなかつた)たる事實あり一部では早くも江口氏の副總裁說を傳へてゐる

仙石氏推擧事情
滿鐵の重大性を考慮

【東京十三日發電】滿鐵總裁の後任は片岡直溫氏に決定してゐたが濱口首相は滿鐵經營の重大性に鑑み愼重考慮の結果、元鐵道大臣仙石貢氏の蹶起を懇請する事とし十二日山本、松岡兩氏の辭表提出後仙石氏に會見を申し込み午後八時仙石氏は官邸に首相を訪問し首相より就任を極力懇請し十三日何分の返事をなす事にして九時半辭去したが、之れより先首相は江木、幣原兩大臣をして內交渉せる事實あり、仙石氏は十三日朝八時駒込の私邸に幣原外相を訪問し受諾の旨首相に傳達方を依賴したので首相は同日の閣議にて閣僚の諒解を求めし後、勅裁を仰ぐ事となつたものである、尚副總裁は結局三派內閣當時副社長であつた大平駒槌氏に決定する模樣である

王氏と打合せ後張繼氏渡日せん
來る廿日頃南京出發

【奉天特電十三日發】本日の安奉線急行列車で赴日する筈であつた張繼氏は、急に豫定を變更し本日午前九時四十分瀋陽驛發の京奉線列車で北平へ向つた、本人は妻の病氣で豫定を變更したと云ふが、某有力者の談によれば南京へ向つた王正廷氏よりの招電に接し急遽豫定を變更したらしく、而して氏は昨日午後張學良氏と密談した事實あり、勞々氏の歸任は東鐵問題に對する張學良氏の意思を國民政府に告げ尚ほ東鐵問題の實地調査の結果を報告し今後の對策を講ずるものと見られてゐる、尚ほ氏は豫定こそ變更はしたが日本行は中止せず本月二十日ごろには出發すると、尚昨夜は奉天總領事館幹部と晩餐を共にした

農作不作を豫想し遼寧省に防穀令
特產商打擊を蒙らん

【奉天特電十三日發】淫雨の禍は遼寧省全般に亘り農作物の被害甚大に上つてゐるが、早くも今秋の減收による穀物の[illegible]主席之が善後策として昨朝全省十八縣に防穀令を發した、之がため今秋の不作に因る穀類の暴騰は免れ得るであらうが、朝鮮其他の地方には可なりの影響を及ぼすものと觀られ特產商筋は不安に驅られてゐる

滿鐵へ行かうと自分も想像せぬ
他の候補を推擧してゐた
元氣な仙石新總裁

【東京十三日發電】滿鐵總裁になつた仙石貢翁は七十三歲の老齡にも似ず矍鑠たるもの、四年前鐵道大臣の時代とは稍老齡を物ゆるも顏色の良さ加減は少しも異らぬ、例に依つてぶつきら棒な調子でぽつ〱語る

世の中には奇體なこともあるものだ、まさか自分が滿鐵に行くとは思はなかつた、實は今日も自分の推擧してゐた候補者があつたので、それに斷わりに行つた譯さ、とう〱油揚を自分が攫つてしまつた

其內に寫眞班が來る、云はれるまゝに默々として宏壯な邸の芝生に立つ、左を向けと云へば左を向く坐れと云へば坐り、笑へと云へば笑ふ、此邊一寸凡人の眞似し難い風格が窺はれる

新總裁を迎へる滿鐵社內の空氣
何れも多大の期待

仙石貢氏の滿鐵總裁就任によつて滿鐵社內の空氣は全く歡喜に滿ち社內各方面の批評を綜合すれば仙石總裁は必らず滿鐵の鐵道計畫乃至政策をして眞に確立させて呉れるであらう、殊に行詰つてゐる借款その他の鐵道もスツカリ打開して

吾權益の 擁護を計つて呉れることゝ信ずる、殊にあゝした眞面目な人物の交渉に對しては例へ支那側でもさう〱出鱈目ばかり並べてはゐられないだらうからその解決の如きもキビ〱して日支人のため有利に展開することであらう、從來滿鐵といへば各政黨とも黨費捻出を畫するために總裁を任命してゐたかの如く想像されてゐた感があつたに對し

民政黨が 透明な眞面目一方の仙石氏を持つて來た點は濱口首相の偉いところだ、斯うした方面に囚はれず滿蒙のため働いて呉れる新總裁、而かも日本に於ける鐵道界の元老であり大恩人である氏が喜んで滿鐵に來て呉れることは滿鐵社員の感謝ばかりでなく在滿邦人が擧げて歡迎する處であらう、此元老級の偉い人物を滿鐵總裁として就任せしめた點はいふまでもなく滿鐵乃至滿蒙問題を重大視した結果であつて滿鐵社員及在滿邦人の總ては非常に名譽なことだと何處の部課所でも激賞してゐたが此の絶大な人氣を以て迎へられる新總裁のもとに從來よりは更に一層の緊張を以て愉快に働くことであらうと期待されてゐる

米國旗艦來港

米國アジア艦隊旗艦ピッツバーグ號は來る十七日來港廿一日迄碇泊する旨當地米國領事館より海務局に內報あつたと

長春商議の正副會頭

【長春特電十三日發】長春商工會議所は十三日午後一時から地方事務所で最初の議員會を開催、出席議員二十一名、直ちに會頭、副會頭の選擧をなし左の通り當選した

會頭 山中繁雄

副會頭 彼末德雄 岡田小太郎

前滿鐵正副總裁東京支社員に辭任挨拶

【東京十三日發電】山本前滿鐵總裁は十三日午後四時東京支社に於て支社員一同に對し辭任の挨拶を爲し松岡副總裁また簡單な袂別の辭を述べた

安樂椅子

十二日夜、ヤマトホテルのルーフで杵屋佐吉師の歡迎宴が催された▲主客陶然たる頃、村岡樂童太夫テーブルスピーチを始めた「思ひ出せば三十年の昔、音樂學校の禁令を破り、杵屋庄三郎師の下に通つたが▲制服のまゝ演奏會の受付をつとめた爲め、事露見に及び一週間の停學を喰つた▲それがどうだ、當時の合弟子の小三郎が今ぢや母校の長唄科で指揮棒を振つてゐる、ナント文部省の奴等三十年頭が古るかつたことを實證してゐるぢやないか」▲隣座の高尾法主の曰く「イヤお前の頭が三十年若過ぎたんだヨ、それにしてもお前ヨク、毎日日本橋くんだりまで通つたの、感心ぢや、賞めてつかはす」▲樂童フアンと悦に入り「實はニンベンの娘の顏が見たくつてネ」

中央公園委員會

中央公園改良委員會は十三日午前一時より市役所に於て開催した

電話幹線を嚴重に警戒
哈爾賓に於て

【哈爾賓】當地市內電話局長沈家楨氏は過日赤系分子から電線數個所を切斷され多數の電話が數日に亘つて不通となり一般に尠からぬ迷惑をかけたに鑑み、特別警察處と協議の上これから毎日警官を電話幹線を巡邏せしめ若し電話局の徽章を帶びないものが電話線に立ち觸つてゐることを發見した場合は直に逮捕嚴重處分し、又最近東鐵を辭職したソウエート從事員の行動を監視すると共に一方修線工程隊を組織し電線その他に故障あるときは直ちに應急修理を行はしめることになつた

商品

鈔錢

後場(出來不申)

定期後場(單位錢)

期	寄付	高値	安値	大引
近	八九三五	八九四〇	八九二五	八九四〇

出來高 期近 五十一萬圓

現物後場(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
寄付	八九、一〇	不申	一三六、六〇
二時半	八九、一〇	不申	一三六、六〇
三時	—		

出來高 銀對金 七萬圓 銀對洋 不申

神戸特產物(十三日)

銘柄	後場引
大豆現物	七五四
大豆先物	六四五
豆粕現物	二一四
豆粕先物	四五七
滿洲小麥	六七五
豆油現物	二一〇〇

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株	七六五〇	七六五〇
大新	六〇一〇	六〇一〇
鐘紡	二四四五〇	二四二六〇
鐘新	一〇九一〇	一一〇一〇
日糖	不申	六五三〇
郵船	不申	不申
東新	九九三〇	九九四〇

東京株式(長期)

銘柄	後場寄	後場引
東株	一一三九〇	一一三五〇
東新	一〇〇〇〇	九九三〇
五品	一二二〇	不申
中	一二三〇	不申
先	一二二〇	不申
豆信	(當)中、先不	申
豆新	(當)中	申
先	一三九〇	一三九〇

東京株式(短期)

	五品	東新
寄値	不申	九九二〇
引値	不申	九九二〇
高値	不申	九九五〇
安値	不申	九八五〇

大阪期米

限	後場寄	後場引
八月	二九一八	二九一四
九月	二八三二	二八三〇
十月	二六八九	二六七一

神戸期米

限	後場寄	後場引
八月	二九三〇	二九二〇
九月	二八六七	二八五〇
十月	二六九八	二六八〇

大阪綿糸

限	後場寄	後場引
八月	[illegible]	[illegible]
九月	[illegible]	[illegible]
十月	[illegible]	[illegible]
十一月	[illegible]	[illegible]
十二月	[illegible]	[illegible]
一月	[illegible]	[illegible]
二月	[illegible]	[illegible]

東京期米

限	後場寄	後場引
八月	[illegible]	[illegible]
九月	[illegible]	[illegible]
十月	[illegible]	[illegible]

橫濱生糸

限	後場一節	後場二節
八月	[illegible]	[illegible]
九月	[illegible]	[illegible]
十月	[illegible]	[illegible]
十一月	[illegible]	[illegible]
十二月	[illegible]	[illegible]
一月	[illegible]	[illegible]
二月	[illegible]	[illegible]

滿洲日報
奪へるものを返せ

露支問題に直面して曝露した支那側の對外的不統一、いよ〳〵出でて統制に惱みつゝあるやうだ。馮玉祥や閻錫山を壓迫した南京政權に對し、奉天政權が一トたまりもなく屈服するのは當然の歸趨といへる。併し、幾分にても權力を、多く把握せんとするのが人情といふもの張學良とても、外交權を卷き上げられ、その上にまた交通權までも取られることになれば、決してよい氣持ちはすまい。よし張學良は沒有法子といふて濟むにしても、奉天閥の家ノ子郎黨は結局、職に離るることになるのであるから、いい氣持ちのせぬのは當り前である。殊に、交通權には收入が伴ふ。南京政權の狙ひどころも要するに鐵道の收入に存する。そこで東鐵問題が、支那的にとり對外的に、また對內的に複雜錯綜、厄介なややこしい問題となつて來たのである。」

◇

國家主權の理論からいへば、張作霖の後に張學良が世襲的に東北四省の支配者となるといふが如きは全く理解すべからざる常識である。併し支那の實情は、事實問題として張學良が後繼者となり、對外的にも、また對內的にも東北四省の最高權力者であつた。然るところ、昨年末よりの形勢は何も彼も中央集權、國家統一といふことで來た。風潮は正にその通りであるが、併し、實情は必ずしも然らずで、外交權の如きも、儼として事實上、地方的の行使を承認され關係各國もまた、その如くにして便利に取り扱ひ來つたものである。東支鐵道の問題が起るや、南京政權は一氣呵成的に、奉天政權の外交權を奪はんと畫策し、かつ同時に孫科を奉天に派し外交權の實質たる交通權をも中央政權に歸屬せしめんと畫策した。この南京政權の仕打ちが、理論上は兎もかく、實際問題として、奉天政權の歡迎し得ざるものであることは明々白々である。東省特別區教育廳長張國忱らの忠勤ぶりは、却つて奉天政權を危機に導くの結果となつた。この內的不統制が、直ちに對露外交の大失敗となつた。そこで張學良、否、奉天政權は板ばさみとなり、死活の瀨戸際に立たしめられてゐるのである。すなはち外交が（よしそれが南京政權の外交であつても）失敗すれば、自分の勢力範圍は勞農露から侵蝕される。またよし外交に成功したとしても、甘い汁は悉く南京政權に吸られ、例の折半問題で抗爭して來た一千萬元に近い東鐵の收益も、中央にさらはれる外はない破目に陷るのだ。」

◇

この隙を狙つたロシヤは、朱紹陽ぐらゐの代表に耳をかさぬのも當然であらう。そこで支那側の對露外交は全く行きつまつた。何とか打開の方途を講ぜねばならぬといふので、豫定の筋書の如く飛び出して來たのが張繼の訪日であるが併し、何といふても張繼は南京政權の代表、よし國民黨の元老であり、西山派の巨頭であるにしても、奉天政權とは、まづ緣の遠いものといはねばならぬ。若し張が日本を訪問し、東鐵問題を解決するの方策を講ぜんとならば、ただ徒らに南京政權を代表するのみにては不可である。須らく奉天政權の有力なる代表者を拉し往き以て日本を訪問し、適當の活躍をなすのでなくては、恐らくはモノになるまいと思ふ。それには、まづ第一に南京政權の東北四省に對する對外的、對內的の野心を拋棄することが肝腎だ。尤も、この野心を拋棄し、東北四省の外交權、交通權を奉天政權に委託（すくなくとも當分の間）し置き、奉天政權とソウエートロシヤ政權とをして、直接に交渉せしめんか、而して例のクーデター以前の原狀に還元することを條件として、交渉の開始を期せんか、張繼などの訪日もあるひは必要なしといふことになるであらう。その上にて、露支協定、奉露協定を最も公正妥當、北滿の奉露實情に適合すべく改訂すべきも可なりではあるまいか。今日の如く奉天政權の實力の上にともかく優越せりと見らるゝ南京政權の存在し、二重外交、二重內政の煩雜を敢てし、しかも何らの統制も存在せぬ以上は、何人の朱紹陽、張繼、さては蔡運升、呂榮寰范其光らありといへども、一メリニコフの飜弄の的となるは必定の事實といふものである。

◇

要するに問題は簡單だ。東支鐵道に對する勞農側の權益を原狀に還元することゝ。而してまた同時に南京政權が奉天政權に侵蝕せんとする外交權、交通權を原狀に還元し、以て奉天政權とソウエート政權とをして直接交渉せしむること之れ以上に、また以外に、露支の紛糾を簡易明瞭に解決し得る捷徑は先づない。支那對露外交失敗の第一歩は、何といふても東省特別區行政長官張景惠が部下の張國忱教育廳長に誤られたにある。而してこの失敗の第一歩に油をかけたものは、南京政權の奉天政權掩有の野心に存ずる。張國忱らの失敗は既に過去に屬し、問題を惹起したのであるから、今さら取り返しはつかぬ。併し、南京政權の野心による失敗は、その野心を引き込ましむれば、ある程度までの回復は出來ぬことはあるまいと思ふ。こゝにおいて吾人は、支那がロシア側から占收した權益は、これをロシア側に還元して原狀に復歸せしめ、また南京政權が、奉天政權から奪取せんとした外交權、交通權はこれを奉天政權に還元し以て原狀回復により露支の國交の危機ならびに支那國內の紛擾を安定せしむることが結局、極東の和平を將來し、滿蒙の開發を期し得るゆゑんではないかと思ふものである。

懸賞論文
滿蒙の地より 母國の友へ送るの書（十二）
當選作　金丸精哉

第三信（二）

「滿鐵附近に於て、又は此れと並行して幹線を敷設せざること」といふ明治三十八年の北京條約を反古にした東三省軍閥は、大正四年の廿一ヶ條々約に認められた「日本國臣民は南滿洲に於て各種商工業上の建物を建設する爲、又は農業を經營する爲必要なる土地を商租することを得」といふ條文を全く空文にして了つた。

◇

彼等はこの商租權の條文に牽强附會的な曲解を加へ、その上「日本人に土地を商租する者は極刑に處す」といふ意味の國內法を公布して事實上商租權を骨拔きにし日本の再三の抗議も空念佛のやうに聞き流して、未解決のまゝ今日に及んでゐるのであるが、彼等はその虛に乘じて盛んに自國民の移植を奬勵しつゝあるのである。

そして日本人は、廣漠たる滿蒙を目にし乍ら、その活動範圍は滿鐵沿線一里の地帶と、奈良一縣の面積もない關東州內に限られ、蹙として共喰ひの生活を續けてゐる。

又、支那側は、間接に日本を苦め、支那側の對日交渉を有利に導く爲に近來在滿鮮人に壓迫を加へ出した。

◇

鮮人は元來、不文律的に認められてゐた滿蒙內に於ける土地所有權を剝奪され、出先官憲は彼等に對し强制的に歸化を催促して、二十元の歸化料を强要してゐる。一方、支那人間に於ても、鮮人の獨擅場であつた水田技術と、水稻耕作の利益を知つて最早鮮人の必要を感じなくなつたので、一流の辛辣さを以て邪慳に彼等を取扱つてゐる。

滿蒙に於て、漢民族について多數を占め、日本の最前線を承る百萬の鮮人も、それを擁護して前進すべき日本軍の主力も、支那側の苦肉策に陷いらされて慘々な目にあつてゐるが、支那側は日本のこの窮狀を尻目にかけて白晝公然條約を破棄し、特產の强制的買占めを行ひ、日支商人を經濟的に封鎖してその利益を壟斷してゐるのである。

◇

そして、この張一派の奉天軍閥は、宛然人民搾取の營利會社の形であるが、その惡錢を以て七度も關內進出を企て、無名の師を起して滿蒙に亂を構える等の不法を敢てし、去年六月上旬張作霖が京奉線と滿鐵線のクロス地點で非業の最期を遂げた前後の記憶はまだ僕等の腦裡に新しいところだ。

作霖の死後一年の今日、滿蒙の僻陬にまで、十二の光芒をもつた靑天白日旗が飜へつてゐるが、僕は、これを單に軍閥仲間の儀式だと見てゐる。

僕に言はせれば、片々たる革命書生や、生半可な思想家等を生き埋にする位の、所謂秦の始皇帝式大理石畫者が出現しない限り、支那の實質的統一は思ひもよらぬと云ふのである。

そして、各所に割據する軍閥を徹底的に勦滅しない限り支那の內亂は今後永くやまないであらう。

◇

現在の國民政府なるものも、巧に、軍閥を糾合して立てられたもので、くつつき者は離れ者であらう。そして彼等は雄大な支那大陸を戰場にしながら、橫に戰線を擴大することも出來ず、お互に腹のさぐり合ひをしながら陰謀と寢返へりに支那戰局を左右してゐる。

話は反れたが、兎に角支那の內亂が及ぼす滿蒙への影響は端睨すべからざるもので、支那の內亂は東洋の平和の攪亂である。

正しく東洋の盟主を以て任じ、平和の擁護者である日本はまだ安價な日支親善を唱へ、屈辱的な現狀に安住して、人類の平和鄕滿蒙をまで彼等の跋扈に委すべきであらうか。

集團の暴力で無理を通す惡傾向
徹底的に矯正せよと邦人側敦圍く
撫順部落民の暴行事件

【撫順】既電の如く十二日午前十時大官屯華工宿舍附近買收地北窯地內の支那部落民が大擧して撫順警察署の桑村部長及び炭礦勞務係員荻原直氏に對する暴行事件は近來の奇怪事として附屬地內邦人を極度に**激昂せしめ**てゐる、その原因は全く支那部落民の無法に因るもので同地の劉明清なるものが約百坪の榮華木廠なるものを買收後の北窯地に建て始めたので、當初から炭礦側は同地面を同人に貸與せず採炭諸準備の都合上約三十回立退を要求したが頑として應ぜず、斯くては何時までも炭礦側の豫定の作業が出來ぬので四日午前九時半荻原勞務係員他數名が現場に至り最後の立退を迫つた處、彼等は忽ち無體の徒六十人ばかりで**勞務係員を**ハンマー、撫鍬等で袋敲きに始めたので、撫順署より桑村部長が急行した時は暴民の數刻々に增し約三百名となり附屬地內に於て日本官權の公務執行を防害するのみならず無法にも官服の上より袋敲きにし傷害を加へ、一時は暴民側に加擔する者約五百名を算し數名の勞務係員や日本警察官を包圍し果ては支那官署に拉致せんとした、本署よりは杉町警務主任、蜂須賀高等、倉田司法主任等約二十名自動車、オートバイでかけつけ**漸く鎭撫し**主謀者と目すべき許某、劉明清等を引致し目下取調中であるが、近來何にかゝ事ある毎に集團の暴力で無理を通さうとする支那部落民の態度には邦人の激昂その極に達し、この調子で進めば何時如何なる不祥事を惹起するやも計れぬ爲、この際徹底的强硬手段に出で將來の禍根を斷たんといきまいてゐる

丁超氏國境へ
多數の衞兵と

【哈爾賓】滿洲里の露支交渉が決裂して國境兩軍は再び緊張を示して來たと傳へられてゐる折から、吉林軍前敵總指揮丁超氏は十日午後五時五十分特別列車で衞兵部下多數とゝもにポクラニチナヤへ向つたが國境軍務を一應視察の上馬橋河の總指揮部に移る筈であると

朝鮮總督府の官舍にも大鉈か
拓相からの調査命令來りて
お役人たち吃驚仰天

【京城】總督府が自動車を整理する、兒玉政務總監が率先して夫人の私用にタクシー乘用を勵行する—課長級が口の中の不平はまだ泰平だつた、八日總督府へ到着した拓相からの通知はそれこそ文字通りに本府のお**役人連中**を震駭せしめた 七月一日現在の官舍の所屬件數及び室數、建物構造の概要、居住者の官職氏名を報告せよといふのである、現在全朝鮮內の官舍數は總督府所管のもの府內三百二三十戶以外に所屬官署のものも多數あり、地方官舍は一道最低五十戶は確實だから總計六百は突破する勘定で、本府では取敢ず八日附で各所々管官廳に對し報告方を通達した、現在官舍料を支給されてゐるのは傭人の一部と判任官以上で、勅任官六十圓、奏任官五等以上三十三圓、判任官と傭員は各一割八分といふ率である、官舍には種々區別があるが**奏任級は**甲四十八坪、乙三十八坪、判任級は甲二十六坪、乙二十二坪、丙十七坪の規定となつて居る、右拓相からの通知に對し張間會計課長は

この處分外地官舍の配給狀態と各方面の割當統一及び將來の參考に資するためでせう

と語つてゐるが、時節柄緊縮政策の大鉈がこの方面にも落下するのではないかと八日朝來本府內は机の前にも廊下にも不安の暗影が色濃く滲み出してゐた

黨義課程修正
吉林省各學校 休暇後に實施

【吉林】吉林教育廳長王莘林氏は東北省が國民黨の傘下に服從して以來本省に於ける專門學校以下各級學校に黨義課程を實施してゐるが最近督學委員より現狀のまゝでは尙甚だ不充分であるとの報告に接したので更に中央訓練部で規定せられた黨義課程暫行法に若干の改修を加へた吉林省各級學校黨義課程增加暫行法十二箇條を規定し八月十日の暑中休暇明けから一律に實施する樣本省に於ける大學校以下各級學校に對し訓令する所あつた

松岡副總裁の吉敦線視察（八）
馬賊のために一時は全滅
今は復興し大市街の敦化
—南里特派員

兎に角蛟河街は近距離に炭山を控へ、老爺嶺、威虎嶺から切出す材木の大集散市場であり、鐵道による輸送と、水運による輸送を兼ねる上に、更に肥沃なる天然の大平原を所有してゐることに於て、また吉敦線の略中央の位置を占むることに於て蛟河將來の發展は蓋し大なるものであらうと豫想されてゐる

◇

記者は昨年九月末（當時の吉敦線は吉林、蛟河間を假營業とし蛟河敦化間は線路の敷設工事を終へたばかりであつた）蛟河から敦化まで七十哩餘をモーターカーによつて走破視察したことがある、あの山岳地帶の而も工事なかばの不完全な線路を全速力で往復して（途中雨にもあつた）よく轉覆の危を免れたものだと今日でも不思議に思つてゐるが、當時威虎嶺では威虎嶺附近一帶を繩張りにしてる馬賊の頭目が旅人二人（支那人）を捕へ自分の庭先でこれを殺害しそのまゝ棄てゝあつた死骸の頭蓋骨一個を頂戴に及んで土產にし、また敦化では泥濘脛を沒する雨後の道路を牡丹江から城內にかけて視察しこの往復とも蛟河に一泊づゝしただけ、それだけ蛟河にはいわれざる親みを感ぜずにはゐられない組役、流筏の光景なども鴨綠江に於けるそれとは全く趣きが異つて面白いところがある

◇

毎年二三頭宛虎が獲れるといふ威虎嶺山脈を境として敦化縣に入るがこの敦化は今日尙ほ牡丹江流域に鄂多哩城跡の面影を殘してゐるところから鄂多哩城とも稱せられてゐる、また敦東或は阿克敦とも稱せられたことがあるといふ、唐時代は渤海王國の一部であつて遼金時代は寧江州の管下に屬し明朝時代には斡朶里衞と稱し扈倫族の所領であり、同朝末愛親覺羅額穆に本據を置いて敦化に軍を起したことから淸祖發祥の地とも傳へられてゐるその後琿春に副都統を置きその管區となつたが光緒七年始めて敦化縣を設置し第一世知事として趙氏が就任したといふ

◇

この敦化は日清戰後匪賊が跋扈し大正二三年頃復興の氣運に向つたが、同九年再び匪賊のため荒され同十一年には更に牡丹江の大氾濫で水に埋められ、翌十二年にはまた〳〵匪賊の馬蹄にかけられ縣城を占領した賊徒は知事を血祭に擧げ全市街に向つて放火殺人掠奪等あらゆる兇暴をつくしたので、官衙公署を初め大半を燒却し殆ど全滅の悲運に陷つた、然しこの全滅後昭和三年鐵道の敷設されるまで五ヶ年間にはスッカリ復興して現在では城內外を通じ四千戶二萬人といふ一大市街を建設するに至つてゐる、鮮人居住者は百名餘に過ぎぬが縣內隨所に散在する鮮人を合すれば二千三百名餘だといふ、而して本縣は吉林延吉を結ぶ街道の中央に位し長白山北幹山脈の集合地帶を占め東は哈爾巴嶺により延吉縣に東北は大黑山脈により寧安縣に北は通溝嶺及威虎嶺を境して額穆縣に、西は新開嶺、南は牡丹嶺を以て樺甸縣に界し三百七十五方里の高原地帶である

◇

殊に敦化平野の如きも海拔一千六百三十七呎餘の高さに置かれてゐる、縣境山脈の海拔標高は

山脈		海拔標高
牡丹嶺山脈	最高	一、八四八呎
哈爾巴嶺山脈	同	一、八〇九呎
大黑山脈	同	二、七〇九呎
威虎嶺山脈	同	一、八〇〇呎

（寫眞は黃泥河子秋梨子間に於ける遼時代の鮮人王族の墓）

滿日地方版

奉天

白頭山を踏破し元氣で歸奉 醫大の跋涉部員六名

去る七月五日奉天を出發し京城、元山、業億等を經て白頭山踏破を見事に完成した滿洲醫大跋涉部員一行六名はその後間島から敦化に出で吉林長春等を經て十二日朝無事歸奉したが

一行中の 川人君は語る

一昨年最初の白頭山踏破を試みた時は通化、八道溝、臨江等を經て惠山鎭まで行つたが守備隊側の關係で空しく引返した、今年は是非萬難を排し踏破すべく既に覺悟を決めて奉天を七月五日に出發し業億迄は汽車に賴つて行つたが、それからは山間を一日に五里宛歩いて七月十七日惠山鎭に到着した、そこで守備隊から四十餘名民家から三十餘名も加はり愈白頭山に向つた、途中朝鮮落葉松の密林で方向も判らぬ處を兩ぎり幾つかの川を渡り谷を越えて白頭山に近づけば、附近は狼か馬賊かそれ以外には何者もゐないといふ物騷な地であつたが、多人數のお蔭で一同

支障なく 進むことが出來た、白頭山から天下を眼下に見下した時は朝の七時頃であつたが深い霧が池からサット吹き上げた時にはその雄大な景は何にも譬へることも出來なかつた、歸路は圖滿江を下り經て間島に入つたが間島は以前の如く危險視されてゐた樣子は全く一掃され、局子街の如き堂々たる町で日本人も三千人ゐるとのことで最もよい處だと思つた、それから敦化に出で吉敦鐵道により途中の密林を横斷し吉林に出で長春を經て一同無事に歸奉する事が出來たのは何より愉快でならぬが、途中色々厄介になつた軍隊警察その他地方民に深く感謝して已まぬ

糶市場への出入停止 五軒に申渡

紛爭中の市場會社仲買人の糶市問題は會社側は依然强硬で十二日左の如き處分を申渡した

糶市場出入停止五日間丸德本店、同三日間丸一本店、同一日間丸德支店、同一日間丸一支店、同

全長春との野球戰 コールドゲーム

(一日間三順興)

全長春對奉天滿俱の野球戰は十二日午後四時半から新公園グラウンドに於て擧行、この日曇天で試合にも見物にも絕好の天候弘津(球)石黑(壘)兩審判の下に長春先攻で開始された、當日はどうしたものか兩軍とも失策多くそれでも第四回までは同點の大接戰で緊張してゐたが、奉天滿俱は四回に一點五回に三點更に六回に六點入れダレ氣分となつて來た、しかし暮色周圍に迫り八回の表で十二對五のスコアーで滿俱優勢を示しコールドゲームとなつて六時半頃閉戰したそのメンバーは左の如し

長春 香幡 川上野田戶儒
淺小牧中川小久保藤高
863294751
2010110 0
得點 一二三四五六七八
2001360

州外庭球聯盟

天奉 上谷藤原田木村塚井
村油近水原武田肥室
6723359184

州以庭球聯盟は去る四日奉天に州外各地庭球首腦者參集し協議の結果、本年度から成立することになり奉天に本部を置き各沿線に支部を設置すると

馬賊團 姚千戶屯の北方に現る

九日姚千戶屯驛北方四十支里の地點にある支那部落田水裕方に二十八名よりなる馬賊團現はれ、保甲團と約二時間に亘る交戰をなし馬賊一名を斃したが其の後該賊團は腹癒せに再び甲保甲團長を襲び同家に放火し全燒せしめて逃走した

相撲で怪我

十一日夜九時十分頃春日公園內に於て少年相撲で取込んでゐた樞立町十三番地藤內善二(一)は左腕關節脫臼その他の負傷をなしたので直に松島町阿部按摩師方に擔ぎ込み目下施療中である

人事

▲中山代議士 十二日大連より來奉
▲庵谷忱氏 十二日朝歸奉
▲香月少將 十一日鐵嶺より過奉遼陽へ
▲明大鶴田選手一行十六名 十二日朝撫順へ
▲東京慈惠會醫大生一行十名 十二日朝來奉
▲三浦、田口兩警部 十二日赴任
▲榆田茂氏 同上
▲清野領事 重慶領事に轉勤することゝなつた同氏は九月中旬赴任の筈
▲野口多內氏 十三日安奉線にて內地へ

撫順

鮮かな妙技に觀衆舌を捲く 明大水泳選手の競技

全日本の水泳界の覇者明治大學水泳部選手一行は十二日午前來撫、直に露天掘、オイルセール工場等を視察して午後三時半より西公園の新設プールに於て模範水泳を行つたが、鶴田、佐田、武林君等の世界的大選手の

雄姿に接 せんものと大連河童連はもとよりファンは同三時頃よりプールさして雪崩込み撫順プール開設以來の大賑はひを呈した、先づ河童連を驚嘆さしたのは鶴田君の素晴らしい體格で而もブレスト二百米突の模範水泳で二分四十七秒と云ふ鮮かさを見せられ舌を捲いてゐた、また又牧田君は百米バックを一分五秒、佐田君は自由型百米を一分フラット、竹村一君は同二百米を二分十五秒、安田君は二分十秒等の人間業でない記錄と鮮か振りに堵をなすファンを全く魅了し盡くしてゐた殊に撫順河童連の感謝してゐたのは

鶴田選手 や佐田、武林等の懇切なるコーチで得る處大なるものがあつた、村松主將、鶴田選手は交々語る

滿洲の奧、石炭しかないと思はれた撫順に斯る立派なレース用プールのある事は意外であつたと共に滿洲水泳界のため喜ばしい撫順のみならず滿洲の各選手達の素質はお世辭でないが驚く位い、唯だ遺憾なのは氣候の關係上泳ぐ期間が短かい爲か練習不足の感がある、だがその短期間の水泳期間を巧に利用して熱を以て練習さるゝなれば盡しその進步は刮目すべきものがあらう

因に當日の競泳で撫順の第一人者堀君がオールジャパンの大選手連と伍し自由型二百米突で二分三十秒の記錄を示してゐた事は將來の飛躍を想はせた

馬賊の巢窟に文化の曙光 (二) 貔子窩を訪ねて

一記者

貔子窩警頭露深く常盤旅館の朝は靜寂そのものである。午前七時半女將の給仕で朝食を濟まし約束の八時に民政署へ行くと峰岸支署長は快よく一行を同署長室に請じて地圖を擴げ管內の狀況を手に取る如く說明して呉れた。

當時は廣袤三十九方里餘で、戶數一萬八千九百十二戶、人口十三萬八千二百五十名、官署として民政支署の外に貔子窩郵便局あり、教育機關は貔子窩尋常高等小學校、私立貔子窩幼稚園に貔子窩公學堂一、普通學堂二十六、私立書房二十一あり、金融機關には滿洲銀行支店、會社としては大日本鹽業會社出張所、貔子窩倉庫會社、東海運輸會社貔子窩鹽業公司等がある

◇

管內は明治三十九年の貔子窩襲擊事件以來、屢々馬賊の襲擊に遇ひ流血の慘を繰返してゐたもので曾ては警官不足のため旅順警官練習所を一時移駐した事もあり、その後警備力の充實と相俟つて馬賊被害も減少したが、この二月には安住大連地方法院長の遭難事件ありまだ〱油斷ならぬ狀勢にあるので同署では平素と雖も警官に武裝を施さしめ萬一に備へてゐる、去る七月二十一日から來る九月二十日までは更らに馬賊跳梁の時期として村落の壯丁と連絡し日沒より日の出まで三々伍々隊を爲し徹宵警戒に努めてゐるが、實に涙ぐましい程の努力である、昨年の犯罪檢擧成績は發生件數四百二十件で檢擧件數は三百五十五件、この人員六百五名である

◇

居住民の大半は農業にいそしみ包米、大豆、落花生の產物多く甘藷、白菜、蘿蔔等の蔬菜類もドン〱大連方面へ輸出され果樹園も至る處に點綴し苹果、梨、桃など枝もたわゝに實つてゐる。家畜も相當多くあり牛、馬、豚それから鷄、鶩、鵞鳥なども輸出される蠶業には滿洲蠶糸會社の蠶業場あり、民間にも相當飼育され一萬餘圓の產額を見、就中天蠶は目下試驗中であるが、將來頗る有望なりと目されてゐる、この他水產物は一ケ年に百三萬三百九十五圓の漁獲と三十八萬百五十四圓の加工製造高あり、製鹽は一億五千百五十萬斤と注せられてゐる

◇

一行が峰岸支署長、竹內屬、猪瀨代警部の東道で二臺の自動車に分乘し貔子窩仙道の福島道路をドライヴしたのはソレから三十分の後である。坦々たる道路はその後の手入れで些かの動搖もなく自動車は辷るが如くに疾驅する、兩側の街路樹は幹廻り二尺位もあらうか鬱蒼として路を蔽ひ非常に心地が好い「早いものですネ、福島都督の植た街路樹がアンナに太つてゐますよ」と署長は感慨無量の面持である。同十時半、貔子河會の滿洲蠶糸會社蠶業場に到着、場內を一巡して安孫子氏の說明を聞いたが此處で珍しいのは天蠶である天蠶の糸は飛行機の翼布に使用するもので滿洲では萬家嶺の滿鐵農事試驗場で極小規模の試驗飼育を行つてゐるのみ、內地でも長野縣の一部に僅かの飼育を見るのみで而かも降雨多き爲め成績思はしからざるに比較し同地の成績は頗る良好だとの事、値段は一升百圓から百五十圓の間「この蛾は人間と同樣に夜間しか交尾しません」と說明して呉れました時、一行は期せずして苦笑した

鐵嶺

鐵嶺軍三たび奉中を破る 第四回陸上競技會

全鐵嶺對奉天中學の第四回陸上競技は十一日正午より公園グラウンドに於て入場式を行ひ、小野運動協會長の挨拶あり直ちに競技を開始したるが、百度に近い炎熱の下奉中選手は潑剌たる學生らしい意氣を見せ鐵嶺軍は來るべき鐵開四公大會の豫備戰として

其實力を 試す好機であり兩軍共に畢生の努力を傾けて對抗したが、奉中軍は終始壓迫され十回までに鐵嶺軍五點をリードして居たが槍投で奉中一擧五點を奪ひ其差僅かに一點愈々最後のリレーとなり、此一戰こそ當日勝敗の決するところとて兩軍應援必死となり選手又必勝の意氣眉宇に漂ひ勇ましくスタートを切つたが、奉中軍の努力も空しく三二、五對三六五で三度び鐵嶺に名を爲さしめた

當日の戰跡左の如し

▲八百米 二分一三分四 林(奉)磯西(鐵)崔(鐵)
▲百米 一二秒 池田(鐵)堀(奉)水口(鐵)
▲砲丸投 一二米四一 山內(鐵)市岡(奉)古賀(鐵)
▲走巾跳 五米八〇 馬(鐵)水口(鐵)崔(鐵)
▲千五百米 四分五七秒〇七 林(奉)朴(奉)李(鐵)
▲三段跳 一二米五一 市岡(奉)崔(鐵)馬(鐵)
▲四百米 五七秒二 林(奉)池田(鐵)岡田(奉)
▲走高跳 一米五三 崔(鐵)宮崎(奉)水口(鐵)
▲圓盤投 三三米〇六 市岡(奉)室(鐵)山莴(奉)
▲二百米 二四秒五分四 池田(鐵)林(奉)平標(鐵)
▲槍投 四一米二〇 市岡(奉)月川(奉)室(鐵)
▲八百米リレー 一分四四秒五分三

馬賊討伐大失敗 鄭局長は重傷を負ひ 隊長は拳銃を奪はる

去る四日法庫縣公安局長鄭魁武氏が縣下を荒す賊團の本據を突き止め石馬隊長と共に孤樹子と三家子の中間獨立家屋を圍み迫擊砲を浴びせて殲滅せしめんとし、賊團は屈せず對抗中なりしは既報の如くなるが、其後討伐隊は保甲及遊擊隊より二百名の增援を得たのに勢ひづき日沒前に討伐せんと盛に砲擊し迫擊砲二十四發を發射せるも不發彈多く、賊團に損傷を與へざるのみか鄭局長は下腹部に貫通銃創を受け石馬隊長は拳銃二挺を强奪された上兩大腿部に重傷を負ひ士氣擧がらず折柄雨模樣ありて賊團は宵暗に乘じ何處にか逃走し討伐隊は徒らに兵員を損傷し大失敗に終り批難されてゐると

諸寺の法要

高野山では昨十三日から十六日まで四日間毎日午後八時より盆法要を執行、聖靈迎法要說教大施餓鬼御詠歌あり觀音寺も同日に行はれ、東本願寺では今十四日から三日間毎日午後一時及八時の二回講演說教讀經法要が嚴修される、西本願寺でも十三日から四日間毎日午後二時及八時から法要說教があり時に原會法師の應援說教あり

滿活社の映畫

お馴染の滿活社はマキノ映畫二大篇を携へ十四日から二日間公會堂にマキノ映畫大會を興行すると フヰルムは谷崎十郎櫻木梅子主演のつゞれ鳥羽玉前後篇二十四卷及東鄉久義主演の痛快無比學生劇鬱骨漢前後篇十四卷であると入場料は特別破格大人六十錢學生三十錢小人二十錢

遼陽

秋季祭典協議 今年は嚴肅に

遼陽神社の秋季大祭に關する協議會は十二日午前十時から同社拜殿に於て開催されたが、神輿の渡御祭典の順序等は大體例年通りで只所謂御祭騷ぎを止めて儼肅な秋祭りを實行する方針であると、因に氏子總代は左の通り決定した ▲滿鐵側古庄、福田、川村、田中、若林、桑田 ▲軍隊側飯泉 ▲町側小笠原、辻本、石川、岡本 ▲城內側林 ▲常務總代郵便局長福永、地方係長石岡の兩氏

輸組臨時總會延期

遼陽輸入組合では田村彥兵衛及同商團員に對する債權處分の件に關し十二日午後五時から公會堂に於て臨時總會開催の筈であつたが、事件本人の負債は役員で立替決濟後で滿鐵本社が整理前に立戻り整理せよと組合に通告せるも、本人の田村は債務決濟後の事とて如何ともなし難く商團員のみに對し差押處分や强制整理は寧ろ片手落ではないかと云ふ疑義を生じ、理事が急遽赴連することになつたので從つて臨時總會は無期延期となつた譯である、噂によれば商團員中一部の無誠意もさることながら組合當事者の今回の措置には相當論議の餘地があると云はれて居る

犯人逮捕賞與

去る七月五日煙臺炭坑派出所に於て同地勤務の山田巡査と楊巡捕が身を挺して殺人未遂强盜犯人を逮捕したる際採炭所の保衛手が助力した廉に依り關東廳から左記に對し金一封宛賞與された

巡查山田四郎、巡捕楊春喜、保衛係天江巳一、中川壽盛、鮫島對盛、保衛手王相臣、沈玉連、趙彬臣、王景滿、李子久、芦恩普

人事

▲赤松大佐(步兵第二十聯隊長) 十二日着任
▲遠藤軍醫正(第十六師團軍醫部長) 同上
▲久下沼沙河口署長(前鞍山署長) 十二日告別挨拶の爲め來遼
▲古岳憲兵少佐(前分隊長) 十二日各所歷訪告別挨拶
▲安藤栄次郎氏(遼陽醫院事務長) 十日桑田前事務長と共に各所歷訪

營口

全營口スポンヂ野球大會の成績 水電裏グラウンドにおける

第三回營口スポンヂ野球大會は愈々十一日より開催さる、出場チームは左の八組にて

滿鐵鐵道軍、滿鐵地方部聯合軍、水電クラブ軍、東亞煙草軍、學友團、谷蘭クラブ軍、胡蘆クラブ軍、アマチユアー軍

第一勝戰の組合は左の如くで第二勝戰の抽籤は十二日午後六時半同グラウンドにて行ふ筈

午前十時より谷蘭軍對胡蘆軍、午後一時より東亞軍對アマチユアー軍、午後四時より地方部對學友團、十二日午後四時半より水電對鐵道軍

午前十時半入場式昨年優勝チーム實業團及び水電軍代表より優勝旗優勝カップの返還を行ひ關本地方事務所長の訓話及び始球式に依り午前十一時愈々第一勝戰の幕は切て落された、試合經過及各チーム左の如し

▲谷蘭18A對胡蘆14
谷蘭—上原口中名塚坪部永
—井河野畑覺大大阿森
123456789
胡蘆—首出見崎原山木中城
—最島新藤宮松鈴田
谷蘭 340650A
回數 一二三四五六七 計
胡蘆 5300060 14 18A
球審—海野、壘審—奧村

▲東亞26A對アマチユア19
東亞—伊平山日稻高浩綾能
—藤林中野葉崎河谷
123456789
アマチユア—美木口代木東邊竹下
—乃齋野田鈴矢渡松森
東亞 251936A
回數 一二三四五六七 計 29A
アマチユア 0032022 9
球審—長倉、壘審—酒井

▲地方部13對學友團9
地方部—元淵生島賀井水木顯
—石岩蒲沖蜂三清青弘須
123456789
學友—口崎尾住井兄邊原井
—樋須增山龜須田西三
地方部 0303430 13
回數 一二三四五六七 計
學友 4102110 9

東亞煙工場 二百名解雇

東亞煙製造所にては操業の都合により男工二百三十五名を解雇したるが勤務年限に依り最低現大洋四元最高同二百餘元の慰勞金を下附した

軍司令官巡視

軍司令官は十一日午後零時三十分北垣高級參謀村上副官及び大石橋守備隊國司少佐龜川大尉を從へ來營日支官民多數の出迎ひを受け清林館に入り晝食の後憲兵分遣所守備隊分遣所等を視察し埠頭より滿鐵小蒸汽にて遼河を視察の上同三時三十分發にて離營した

永尾氏の挨拶

永尾前所長は轉任挨拶の爲十二日各方面を歷訪したるが出發は十五日十時三十分である

荒川領事赴鮮

荒川領事は在鮮義兄危篤の報に接し十一日十時半發にて急遽同地に向つた

安東

殺人犯人逮捕

本月三日慈城郡長上面洞下洞に於て自家同居の山人蔘採取業李日河(三)を慘殺夫妻諸共逃亡せし事件は既報の如くなるが其の後當局にても容疑者たる同店主崔明吉(三)及び妻鮮于山(三九)の行方に就き嚴重搜査の結果、七日に至り同面土城洞に於て鮮于山を逮捕、次で八日同洞早栗山中に潛伏中の崔明吉を取押へ目下嚴重取調中である

國境一閃

中絕の形にあつた市民大運動會は九月二十九日に行はれることになつた▲去る八日の協議會では市民側の委員から廢止說が行はれたといふ▲その理由とする所は所定以外の費用が嵩むこと、不景氣の時だし節約を必要とするにある▲だが再考せよ節約すべきものは冗費であつて規定の經費の謂ひではあるまい▲殊に年に一度の大會である日曜も休まずに孜々として働いてゐる市民の慰安ではないか▲滿鐵側の社員丈でやる運動會をじつと指を啣へて見てゐねばならぬ子供達の心情も考へてやれ▲況んや八方行詰り、意氣消沈の觀ある市中側としてはかゝることによつて元氣を立直すべきではないか▲まさに精神作興の唯一の方途と云ふべし▲緊縮節約の聲で精神まで萎微沈滯するのでは穩當の節約では斷じてない筈だ▲伸びんが爲めの緊縮と知れ、四百五十圓の補助費は何の爲めに計上してある

土用稽古納會

安東署劍道部では土用稽古納會試合を十日午後一時より署內演武場に於て擧行紅白試合では二十三點對二十六點で白軍の勝利に歸した

濁流に呑まる

新義州營林廠職工尹某は十日午前十時頃同署江岸の驟筏場にて筏の整理中誤つて江中に墜落濁流に呑まれ溺沒したので、極力屍體搜査の結果十一日鴨綠江下流第二見張所附近に浮上つたのを發見し早速引上げ家族に引渡した

鮮人の溺死

白馬驛三檣川水泳場は開場早々犧牲者を出し納涼客の來場に影響する事と思はれたが、連日の暑氣の爲め休日毎に數百の納涼客は續々と押かけ非常な賑はひを呈して居るが、十一日午前十時二十分頃新義州府老松町四新城旅館止宿朴明錫(三)は水泳中行方不明となつた

鮮人酌婦自殺

新義州府內彌勒洞一四九飲食店黃信道方酌婦金順根(三)は二週間程前に前借二百圓で黃方に住込んだものであるが十日午後一時友人宅より歸宅後苦悶を始めたので直に青山病院に擔ぎ込んだが、多量の阿片を嚥下して居る爲め午後六時頃絕命した、原因は不明なるも多分厭世の結果であらうと

金州

海岸釣に賑ふ バス開通に惠まれて 大連の天狗連も來り

暑熱も早や盛りを過ぎて太公望連に喜ばれる時季となつたので、脊本入らずの餌屋がぼつ〱賣り出しを始めたが、十一日の日曜あたりから西海岸、拉樹房方面は天狗連の爲めに賑はひを呈して居る、滿電バスの開通されてより大連釣黨連の進出も追々と

目立つて 來た、金州に於ける釣場としては先づ第一に指を折られるのが大孤山海岸であらう金州を去ること五里にして近來自動車の定期運轉も出來非常に便利になつて居る、運賃は片道一圓位で亦大孤山に近き董家溝海岸にも相當の漁魚があるが、茲は片道八十錢の自動車賃で足りる、近き處では馬家屯海岸小孤山海岸であるが、此の方面は風向きに依つて良不良の差が甚だしい何と云ふても釣れる範圍が廣くて且近いのは西海岸であらう、城內で馬車を降り亦金大道路間も柳子屯より一寸入つた拉樹房海岸も相當の漁がある茲は龍王廟を經て約一里の箇所である

海岸線の 短い割合によく釣れて何れの海岸よりも魚が大きいので珍重がられて居る、各海岸に於ける主な魚はチヌが西海岸、拉樹房、馬家屯小孤山、董家溝海岸、大孤山海岸はチヌを始めあぶらめ、めばる等が最も多い

傳染病は下火

今年の惡天候の影響は健康狀態に非常な支障を來し、今年より開設せられたる金州醫院の如きも入院患者常に二十二、三名を算したが最近幾分下火となつた、目下入院患者中最も多いのは下痢患者で僞性の赤痢等も多い模樣である、これ等は體質の如何にも依るが暴飮暴食或は寢冷等より來るものであつて此の邊の注意は特に必要である

三浦警務課長着任

今回當民政支署警務課長を命ぜられたる奉天領事館警察署勤務三浦貞三警部は今十三日午前七時十二分金州着の列車にて着任する筈である

鞍山

要求を拒絕され示威行動に出づ 千山に立籠る馬賊團

千山に立て籠つて居た馬賊團から立山東方沙河村に脅迫狀を發して金二萬圓を要求した事は既報の如くであるが、馬賊團は沙河村に於て要求金を拒絕する事に決したと探知するや種々示威行動に出で、十日夜同村を襲つた數名の人質を拉去し道路に脅迫狀を撒き散らしたので、村民は全く恐怖の念に驅られ人心恟々として居るとの事であるが、十一日遼陽公安局より二十名の討伐隊が立山驛に下車し沙河に向つたと、猶鞍山守備隊では何時鐵道附近に出沒するやも計り難いので嚴重警戒中である

製鋼所問題の聲明書起草

鞍山實業協會及經濟研究會では十一日午後八時より公會堂に於て役員會を開き製鋼所設立運動に關する今後の方針に就いて種々協議する處あつたが、尙之れが運動に就いての聲明書を作成發表する事となり阪元藤三郎、石川義助、植田繁造、堀磯右衛門、神田藤兵衛、岡部直、大惠新治郎の七氏を起草委員に擧げ目下作成中である

小學校同窓會 非常に賑ふ

鞍山小學校第七回同窓會は十一日午後一時から同校講堂に於て開催された、出席者は日向校長教職員來賓及男女同窓會員約百五十名にて開會の挨拶後死亡會員に哀悼の意を表し、次で會務報告、木村首席訓導の母校の現狀に就ての說明幹事の改選、記念撮影があり、夫れより澤山の餘興があり最後に同窓會萬歲を三唱し閉會したのは六時であつた、猶正副會長は新選幹事の互選に依つて男子部會長小山田君、副會長板坂君、女子部會長佐藤孃の三名に決定した

署長の發着

大連沙河口警察署長に榮轉する久下沼英氏は愈々十四日九時廿七分發の列車で赴任する事となつた、尙後任松木署長は十五日十四時二十二分着任の筈である

笑和會員送別會

笑和會では沙河口に榮轉の久下沼署長の爲め十二日午後七時より臺町クラブに於て盛大なる送別會を開いた

童話と映畫會

鞍山佛教童話會では十四日午後七時より演藝館に於て童話と映畫大會を開催する事となつた、當夜のプログラムは現代劇彼女の運命七卷時代劇斬奸六卷其外有志數名の童話等で入場料は大人二十錢小人十錢であると

本溪湖

簡閱點呼好績

八月十一日當地に於ける簡閱點呼は山口大隊長檢閱の下に守備隊に於いて行はれた、令達人員四十二名、內所在不明にて令狀交附不能者二名、他は全部出席し總員四十名、八時半呼名點呼より始められた、勅諭勅語の奉讀に次いで警察署長地方事務所長の講話あり、それより約一時間教練終つて執行間の講評、訓辭ありて何等故障なく點呼は終りを告げた、來る者總て元氣一杯、中にも水害のため不通となつた溪城鐵路を早朝より空腹の儘徒步で馳せつけ、ために教練中卒倒した者あり位で、在鄉軍人の力强さの程を見せた

開原

人質を奪還して賊一名を逮捕す 附屬地の非常警戒

十一日午後三時頃遼寧省西豐縣狗漁泡李德川(一九)は東北中學の學生で奉天に歸校せんと家僕沈祥雲(二)、荊某(八)の二名を伴ひ開豐鐵道列車不通の爲め徒步にて來開の途中當開原附屬地を距る東方約六丁地仁子路上に於て三名の匪賊に遭遇し人質として連行されたが家僕沈は此旨を小孫家臺公安第四分局に屆出たるを以て巡警三名は屆出人を案內として現場に赴いた處同地附近は濕地の爲め足跡を辿りて犯人搜査追跡中午後六時頃當地を距る東方約二十丁石家臺東方高粱畑內に潛伏し居るを發見し交戰格鬪の上匪賊一名(銃器所持せず)を逮捕し人質を奪還したが他の匪賊二名(何れもブローニング拳銃所持)は當附屬地方面に向ひ遁走した、右交戰中巡警二名は頭部及び大腿部に擦過銃傷を蒙つたが何れも輕傷なりと因に被害者は西豐縣に於ける有數の豪農の出なれば人質として連行回贖金を强要する計畫にて尾行し來たるものだらうと、又午後七時十分隣接小孫家臺公安第四分局より前記匪賊二名開原附屬地內に逃入せりとの通報あり時節柄非常召集を行ひ警戒搜查に努めたるも何等異狀なかつたと

多數の匪賊 管外に出沒

十日午前零時馬仲河附屬地を距る西北方約三支里の地點昌圖縣宋馬地部落に二名はブローニング拳銃五名は長銃を所持せる七名の匪賊現はれ同部落王某(三)方に闖入し同人を人質として拉去した

◇

六日午後十時頃馬仲河附屬地を距る西北方約六支里の地點昌圖縣心家屯部落に五名はブローニング拳銃五名は棍棒を所持せる十名の匪賊現はれ李某(四九)方に闖入し同人の長男某(一七)を人質として拉去したり

◇

九日正午頃で滿井居住農付某長男(二九)が靠邊屯の母親の許に向ふ途中滿井驛を距る西北方六百米突餘の地點獨立樹の下に差し蒐るや突如附近高粱畑より各自長銃又は拳銃を所持せる七八名の匪賊現はれたるを以て同人は之に驚き直ち附屬地內に逃げ込んだと賊は軍服或は百姓服を着し二十五六歲より四十歲位までの者であると

◇

十日午後三時頃滿井驛北方遠方信號機を距る約一支里北方高粱畑附近に於て各自長銃及び拳銃を所持せる十四五名連れの匪賊現はれたが間もなく附近高粱畑中に潛入したと

青年團庭球大會 A組優勝す

開原青年團體育部の庭球大會は十一日午前九時より開始し出場者廿四組をABCDの四組に分ち各組共鎬を削つて百二十餘度の炎天に猛暑苦熱も意とせず壯烈なる試合の結果A組四十七點B組三十五點C組三十點D組三十六點にてA組の優勝に歸し午後三時終了した

四平街

全哈爾賓軍慘敗す 對四平街野球戰

全哈爾賓對四平街との野球試合は十一日午後一時半から公園新グラウンドに於て高附(主審)酒井(壘審)兩氏審判四平軍先攻にて開始されたが、此日風なく炎熱やくが如き眞晝にも拘らず久し振りの試合を見んものと公園に押寄せた人波は夥だしく定刻前既にスタンドは埋め盡くされた、定刻午後一時半高附主審のプレーボールに戰ひの幕は切つて落されたが哈爾賓不振二回龍一壘失に生き杉山の三遊間好打に一點第六回小野の三壘頭上を拔くテキサスに進壘富田の犧打に依り一點七回更に一點を加へしのみなりしも之に引換四軍始終哈軍を壓し一回一二回一三回二六七回各一點を得八回表に於て一擧七點の得點をなし大勢既に定まる北滿の覇者も四軍の健棒には敵にあらず長途遠征の意氣空しく無慘や十三對三の記錄にて四軍の前に降參した因に兩軍の戰跡左の如し

哈 010001100 3
回 一二三四五六七八九 計
四 112001170 13

土用稽古納會

武德會支所の武道土用稽古納會は既報の通り十日午後二時より滿鐵道場に於て擧行、出席總會員九十八名の內皆勤者六十三名に皆勤證書の授與あり三伏の猛暑に流汗の猛練習に進境著るしく勇壯なる高點試合に盛會を極め成績左の如し

△柔道の部
一等大野、二等中村、三等三重四等宮田、五等林

△劍道の部
一等細田、二等柏良、三等臼井四等小野、五等前田

哈爾賓

發車時刻改正 長哈間の列車

哈爾賓、長春間の旅客列車運行時刻は八月十二日から何れも現行出發時刻よりも一、二時間早められ次の通りに改正されたが、到着時刻は從前と少しも變化なりと

▲哈爾賓發(哈爾賓時間)
第三列車 二二時一〇分
第十一列車 一八時四〇分

▲長春發(南滿時間)
第四列車 二二時三四分
第十二列車 一九時二九分

郵便物殺到

東西國境封鎖のため歐洲からの郵便物は今日まで一つも到着しなかつたが、九日浦鹽から敦賀を經由し二百四十袋の郵便物が一時に殺到したので郵便局では大多忙を極めてゐる

汽車課長巡視

東支鐵道汽車課長高端氏は成高子の貨物列車脫線及び細鱗河の鐵橋破壞など東部線の鐵道事故が頻發するので、十日午後四時十五分發列車で沿線巡視に赴いた

滿日名家 敗退將棋 (三)

【飯塚氏三回勝四回目】

香平交香落 七段 △宮松關三郎
六段 ▲飯塚勘一郎

持駒 飯塚氏 ナシ

持駒 宮松氏 ナシ

【圖は三一角迄の局面】

【盤面以下指方】△二六步▲一四步△四六步▲五二金△三六步▲七三桂△五九角▲九四步△七八飛▲九五步

【對局者の感想】宮松七段曰く三六步は五九金左と寄り四八に越す順もあつたが何れがよいか判然しなかつた。飯塚六段曰く七三桂は模樣により六五に出て極力戰ふ準備です。此桂がよく働けて來ると値が多く生じます。宮松七段曰く五九角は三六步の繼續で六五銀と交換を挑まれる味ひは嫌であるし模樣に依り二六に轉じる心算です。

【大崎八段講評】上手飽が九四步と突出すを七八飛と廻りしは五八金と締りて四七に越す意味なるも此場合よろしからず直ちに九八飛と廻りて端を凌ぎて駒組を完ふする方確かなり。

濱口熊嶽の一大神秘靈術

天成に三密を具足する偉人格

宣言

一字の『信』に一字の『行』を加へたるもの之を『我の力』と爲す『我の力』は至純至眞天地萬有を照破して剩す所なく無碍大自在の殿堂に晏臥して能く古今を通觀す、『我』は疑ひなき殿堂の主である『力』は『信』であり『行』である、三密顯眞を我が宗の秘法と云ふなかれ、是れ唯だ天地の命題、精進努力の心劍を以て、自由の體得を解剖すべきのみ、近時思想の混亂を說くもの『信』と『行』とを人間より取離し、『我の力』を徒らに消耗せしむるに過ぎぬ、來れ吾今三密の秘庫を啓く、物心の憂苦汝に於て何かあらん

とげに熊嶽のなす所は俗人の謂となる眞言秘密の法にあらず物心一切を超越せる靈力顯靈現である！

昭和の日蓮か？ 弘法大師か？

靈術界の怪傑 濱口熊嶽師

藤原醉花記

昔日蓮上人は漁夫の家に呱々の聲を擧げて歎乃朗かに聞え、靈鷲の夢濃かな漁村でいぶせき賤の伏屋で家業を助けてゐたが、大いに感ずるところがあつて毅然として笈を負ひ住みなれた故郷を背にして多年身延山に入つて靈術の研究に專念沒頭した結果彼は遂に日蓮宗といふ一宗派の開祖となつた爾來星霜すでに七百年その昭和の今日でも日蓮宗に歸依する人々は實に數百萬人であつて巍然たる宇内の一大宗教として社會から認められ先年はこれに大師號さへお授けになつたほどである。

◇ ◇

この千古の傑僧日蓮上人と同じ境遇の下に人生の海に棹さゝれた靈界の偉人濱口熊嶽師も三重縣長島町の名もなき一漁夫の伜として生れ落ちたのであつた十四歳位まで近所隣の家に日傭ひ稼ぎをして土地の若者等とゝもに魚網を引いて一家の糊口を補足し細い煙を立てゝ居たが、栴檀は双葉にして香ばしくそれが何時の間にやら日蓮のやうに又弘法大師のやうな神通力に似通つた仕業をやる様になつた。それを聞いた竹馬の友達等は『何あの阿呆熊が何をいふのだ』と一笑に附し去つてゐたが將來靈界の明星ともなる程の聰明な熊嶽師であるからこれ等有象無象の言葉には耳を假さない只一心不亂に摩訶不思議の靈術の發見に沒頭したので逐年豪くなつて後年錦を着て歸つた時には土地の人々は皆アッと許りに驚異の眼をみはつたこんな離れ業は隨所に演ぜられるのでどこまでも摩訶不思議である。身を疾風豪雨吹き荒ぶ一漁村に起し一代で數百萬圓の富をつくりあげたのだからこれがすでに不思議であるが、更に不思議なのは熊嶽師の靈術で眞に人をして驚嘆せしめる。

◇ ◇

記者は一日閑を偸んで熊嶽師の施術場を瞥見した。先づ門前を見ると自動車、腕車、釣臺、蒲團をしいた荷車もあつた。いづれも病人をのせて來たものである。門内に入るとどこの隅々までも患者と附添ひ人でほんとに立錐の餘地がない程である。そして苦痛を堪へて順番を待つ人々が雜沓してゐるもとよりその中には病身の母親の乳房をしかと握つて泣く小兒も居れば妙齡な美人が青ざめた姿で物思ひに沈んでゐるのも見える。多分梅毒で失望してゐる者と思はれる。又は齒痛にたへ兼て苦悶を訴へてゐる者數へ來れば屈指するひまがない。痛々しい婦人達が同病相憐れんで口々に我身の不幸をかこつ悲痛な物語り騒々しく滿堂悲愴な空氣がみなぎつてゐるが白衣姿の熊嶽師が靈言一喝威嚴的の靈法氣合の聲一度感じては不可思議にもこの多くの難病者が悉く順番に苦痛の哀訴が九天直下歡喜の言葉と一變して勇ましく歸つて行くのを見ては何人でも驚かない者があらうか。

◇ ◇

熊嶽師の施術ぶりを見るに頗る簡單なものでまづ施術の前に護摩を焚いたり水盥の氷をふり播いたり行をやるのであるがそれは要するに施術者の精神を統一するのでいはば病氣を燒き盡す強大な精神力を集中する一の手段に外ならない。これを彼の電氣療法に譬へるならば蓄電池の中に電力を蓄へると同様かくていよく電力が充實するとこれを使用して患者に感電せしめてその病根を燒き盡くすのである。

大日本天命學院

濱口熊嶽是を創設す

濱口熊嶽天下につげていはく『予は感ずるところあつてこの度大日本天命學院なる一學園を起こし、予が修業し、感得し、大成したる『及無邊際の靈力』と『摩訶不思議の妙術』とを廣く置ぎの求迎者に傳へんことを企てた、そもく予のこの『靈力』『妙術』とは予が半生の至寶にして、容易に他にこれを傾つべきにはあらねども、時勢は急速度を以て展開して來た、展開せる時勢は、予が見る限りの階級を通じこれを思想混亂の巷に誘ひ、人類として、國家として誠に一大事因縁に逢着せるの姿である、これ我同胞未だ心鏡仲照らさず、無明の迷執纏綿として拭ふところを知らざるが故に佛魔人魔に惱まさる、何とも氣の毒千萬である、彼等は身に尺鐵を帶べるも心に寸信を藏せざるため惱むべき危險界に墮し去るのである、信は力である、信の力なき『我』は嘘の『我』である、即ち眞實の我を築き上ぐるの精々進々は、予の寶藏において、これを求むるのみだ熊嶽六尺の身體は小なれども求法の『妙』においては、自ら大なることを信ずるものである人間の病惱一切は人間自らこれを迎ふるのであるが、未だこれをわれに歸するものはない、あゝおろかなる人間よ、何ぞ速かに無明を出でて驅眼の實を掴らざる、予は予の『信の力』によりて、得たる『奇瑞奇特の法術を自ら秘するに忍びない、これを授けて斬魔驅徳無碍大自在の樂園を建設せしめんとす、大日本天命學院は、この意味において予の王城である、予にこの王城において、多くの至眞なる教道の弟子達と共に天下に對して大獅子吼するを止まぬものである』と天命學院の使命は實に大である、しかして天命學院は濱口熊嶽の足跡の印するところに建設せられ、道を求むるところのものは隨所にこれを得らるゝであらう、熊嶽の秘法を傳へて自ら全からんとするもの今や天下にその堅あまねきを致す

紀州長島町濱口熊嶽別邸と熊嶽師

叱咤の底に流る、熊嶽が同情の涙

極めて清く流れる。美しく温かく流れてゐる。熊嶽の神靈の領域を壓して多くの患者に接するときも同情の涙があふれて落る。彼は朋友を救ひかつ朋友でない處のものでも弱者と見れば必ず救ふ。國家のため流したる彼の涙は軍資金の獻納となり、赤十字社への寄附金となり、道路費となり、教育費となる。社會的若くは個人的に流したる彼の涙は孤兒院の寄附金となり、個人的事業成功の一助となり道に迷へる弱き者をして蘇生せしむ。濱口熊嶽とて慾のないことはあるまい。しかも彼の慾は惡慾といへるであらうと思ふ。惡慾といふことは彼が大いにまうけんとして一生の心血を傾ける處に矛盾を認めるやうではあるが彼が大いにもうけんとするは大いに散ぜんと欲するがためである。彼はよくもうけて、しかしてよく散ずる。その散ずるや世のため人々の爲に金を用ゐるのである。彼は社會奉仕といふ言葉の出來なかつた時代から夙に社會奉仕の實踐者であつた

驚嘆すべき熊嶽術の靈力

不姙者が術を受けて子を産んだ實例二件

ドクトル・メヂチーネ 烏丸俊彦

濱口熊嶽師の靈術における名聲たるや。國内津々浦々はいふも更なり、遠く外國にもおよびて、未だ一人の追從模倣を許さゞる底の特能を有するは、吾も人も共に深き驚異となし、かつ天下の奇蹟とせる所以なり、吾人從來久しく師に接してこれが事實を見聞せしのみならず師自ら余に對して懇なる啓示を垂るゝ事一再に止まらざりしといへども不幸にして吾人つひに師の眞髓に觸るゝ能はず透徹せる何者をも體得し能はざりしを自身深くうらみとなすものなり

過ぎし大正五年、師たまく我京城の地に來遊してその術を施すや予再こゝに親くその實蹟を探究するの好機に會せしを喜び即ち予が預かる患者の多數をすゝめて師が術を受けしめ、しかして効果の程度如何を觀察せり。然るに、成績頗る廣汎にして複雜を極め、或者は治せりと稱して師の恩惠に厚き感謝と深き信賴の情を表せるありまた或者は治せずと訴へて漸く悲觀の色を漂はせしもあり統計上やゝ困難の材料を提供したり、然もこの間において予は未だかつて經驗する事なかりし驚異の一大事實を發現せるなり、よつて予は今本欄において例ふべからざる愉快としかして師に對する最も敬虔の念を持しつゝこれが事實を社會に公表せんと欲す愉快なる一大事實とは何ぞ、これ他なし。即ち予がすゝめて師の術を受けしめたる患者の内に不姙症ありしが、その内の二人は正に受胎して……作用適中して全治するなりしかして玉の如き子供を受胎して母子共もなほ健全なり

第一例

年齢二十八歳寫眞師の妻なるが結婚後八年を經るも受胎せざりしに、師の施術後一回の月經を見て姙娠し、こゝに女子を分娩したるなりき。

第二例

右の内、第一例中の者に對しては姙娠中予自ら常に診察してゐたるが一家喜悅の狀態に例ふべくもなき有樣なり。前記の甲乙兩女はその後爾二ケ年を經過する今日共に未だ受胎せざるが當人等の讚辭中その一班を摘記せんに、第一例の者は

『ほんとに不思議と申上ぐるより外に言葉がございません御蔭様で子供を一人授かりました。イエもうとても出來ないものと思ふてをりましたのにこんな嬉しいことはございません、子供が腹を痛めるといふ人生の愉快を初て得ました。全く濱口先生のお蔭様です』と第二例中の者はいはく。

『ほんとに出來ましたよ。嘘でも僞りでも御座いません、御覽下さいまし、ピンく跳て遊んで居るぢや御座いませんか不思議で御座いますよほんとに妙でございました。子供の話さへ出たら必ず熊嶽先生のお噂を致してをります。誠に有難うございました』と。

實に右の如くなり。かくの如き靈術は精神療法とはいへ、實に師の術を措いて他のいづこに求めらべきものぞ。予は師と交誼を結ぶこと將に十有餘年世のいはゆる『昔』を經たり、然るにその間師の術として邪宗の利益、人類の一大禍害として推賞するも又決して濫りなざるを堅く信じ居れりよつてこゝに蕪辭を草し遙かに師の健全を祝福すると共に、大事業の圓滿なる發達を祈りてやまざるゆゑんなり

靈界の權威者 濱口熊嶽師を訪ふ

摩訶不思議の靈力

熊嶽の名は天下を魅了す

▲醫者も驚く

予はまだ熊嶽の術には多少の謎を持つてゐる從つて予はその後も二回程自ら施術を乞ふと共に熊嶽のなすところを注視してゐる、そして百發百中の奇蹟に今更ながら驚きを深くせられたのである。熊嶽のもとへは日毎に何十人といふ病者が押寄せる、肺病、胃病、心臟病腎臟病神經衰弱、リウマチスとあらゆる病者が治療を乞ひ來るも然もその多くは慢性病者だ、甚だしいものは二年も三年も乃至は五年も醫者にかゝつて遂に何の効もなかつた人々である、それが熊嶽の彼の不思議な術でなほるといふことは現代の奇蹟でなくて何であらう幾たびか難病重症を熊嶽によつてなほされた病人が熊嶽を生き大師とあがめるを思へば當然のことであらう

醫者も熊嶽の術には舌をまくだけである醫學や生理學の上からは十分說明することが出來ないからで

……識な秘術の眞髓を滿天下に發表しないで秘密にしてゐられたので荒唐無稽な種々の香具師仲間であるとの世間から懷疑の眼でみられた爲色々な疑惑をうんではてはその筋ににらまれ我日本の官憲に七百二十一回も檢束され遂には司直の手を煩はしたことは實に四十七回であつて未決監に這入つて淡い月影を眺めたことは三十六回におよんださうです。然しこんな峻烈な桎梏を受けてもその内容に至つては依然として疑問であつて、如何なる權威を持つても秘密の鍵は得られなかつたのです。かうした慘苦はそれだけではやまなかつたのです。四顧一人の知己もない雲山萬里を隔てたあの異境の空でも警察署や裁判所に拉致されたことは一再ではなかつたさうです。即ち米國で三回、佛國で一回、露國ではモスコーの監獄で呻吟して、具さに縲絏の憂目を見たのであつたがその都度熊嶽さんはあの靈妙神秘な摩訶不思議……

◇

最早隻髪、兩三點の霜を加へ秋すでに高くなりましたがこれからまだ歐米各國を漫遊する目的であるか弱い子供でも容易く施術ができる樣切に敎へてあります。

◇

この講習錄を熟讀玩味し術の蘊奥を會得すれば……たる金看板を掲げて内地は……海外諸國にまでも施術を業として決して警察官憲や……局などの御厄介になるやうな事は斷じてありません又實地は何時でも教授致します

コドモページ

夏の夜の物語 きみのわるい家(中)

武藤一枝

秋も末になつて落葉の頃になりました。それはいつ頃でしたらうか。もうわすれてしまひましたが、何でも野分の風と言ひますか、秋の末に大風がはげしくふきますが、そんな時分だつたとおもひます。はげしい風の夜でした。

お宮の森は、海鳴りの様にゴウ〱ととゞろき、さしもの大木のいてふもはげしくゆれて。じゆく〱しきつた黄色い實が、ピシヤ〱ピシヤ〱と、地にたゝきつけられる音は、ちやうど、大雨の音のやうでした。

其の夜は、みんな早くねて、私が一人二かいのまどぎわで宿題の綴方を書くのに夢中になつて居ました。二階の窓ガラスから、黒い森が、ものすごいさけびごゑをあげてまもの〱やうに動くのがよく見えます。風のあひだ〱にいてふの落ちる音。こんな晩は、いつものふくろふさへ鳴きません。私はその頃、おともだちや家の者から「こわいもの知らずだ」と言はれてゐたくらゐでしたので、別におそろしいとも思はず、平氣ですわつて居りました。する中に階下で十一時を打つ音がしたので、私はぜんぶかたづけて、二階中の部屋の戸じまりをして電燈を消して、階下におりやうと思つて、はしごだんの上り口まで來た時、フツと何とも言へぬいやな氣もちになつて、しぜんに立ちどまつてしまひました。

私ははじめておそろしいきもちになつたので夢中でかけ下りてげんくわんのべんじよへ入りました。そして外へ出る時に、ふと誰かべんじよの中に居るやうな氣がしたのです、人間のかほがどこかで私を見つめて居るやうな……そんな氣がします。私はハツとして小まどを見上げると、大變!たしかに四十位の男のかほが見えたのです、私はゾツとして目を外らすと今度は、べんじよの中にも同じかほがゐるやうです。私は、それでも今一度見なほす勇氣が有つたのです。だがもう、何も見えませんでした。其はほんの一瞬間のやうにも思はれ又、恐ろしく長い時間のやうにも思はれました。とにかく私はもう後をも見ずに、ね間へかけ込んで、お父さんを起して話しましたすると如何した事でせう!

童謡 樹かげ

河原みくさ

樹かけでねてるよ
草つ原の
上だよ
商人らしいよ

自轉車もねてるよ
荷物と
いつしよよ
樹かげでねてるよ

すゞしい風だよ
ひいろい
草つ原
吹いてる風だよ

ねてゐるお顔に
葉越の
日影よ
いくつもうごくよ

くもの話(1)

みつばちや蟻にまけないりこう者 くもの種類は非常に多い

一郎。お父さん、ちよつと來てごらんなさい。こんなところに大きなくもが巣をはつてゐますよ

父。それは大名ぐもだ。

一郎。きのふは、こんな巣がなかつたのに、いつのまに張つたのでせうね。

父。夜のあひだに張つたのだらう

一郎。一ばんのうちに、こんなりつぱなあみをこしらへるのですか。

父。さうだ、一ばんのうちにこしらへあげたのだ。くもは、その形がみにくいのと、どこにでも網を張るので人々からきらはれてゐるが、くもは虫の中でも蟻やみつばちなどにまけない勤勉家で、しかも中々のりこう者だ。

一郎。くもは人に害を與へませんか。

父。くもは人に害を與へるどころでなく、あべこべに害蟲を捕へて農業や林業のお手づたひをしてくれる益蟲だ。

一郎。くもにはいろんなのが居ますね。

父。くもは非常に種類が多い。

父。鳥とりぐもはその形が大きいといふわけで習性に面白いところはないが、くもの中には實に面白い生活をしてゐるのがたくさんある。

一郎。何十種ぐらゐありますか。

父。何十種や何百種ではない現在世界に知れてゐるのだけでも五千種位はあるさうだ。

一郎。南アフリカには鳥を捕るくもが居るさうですが、ほんとですか。

父。それは夜出るくもであまり其の習性は知られてゐないが、何でも木のかげなどにかくれてゐて小さな鳥をみつけると、とびついて齧をさし、その血を吸ふのださうだ。

一郎。まだほかに面白いくもがありますか。

一郎。お父さん、面白いくものお話をして下さい。

父。よし〱、では向ふの木がけに行つて話してあげやう。(寫眞はうつくしいくもの網)

ニドメノ大チャンノタンケン (86)

ハルミチ作 ジラウ書

オヂサンガ センスイテイヲ サガシニ デカケテ シバラク シテカラノコトデス。大チャンハ コヤノ ナカニ ルスバンヲ シテヰルト ソトニ デテ ヰタ ブルガ ホエナガラ アワテテ カケコンデキマシタ。

コヤノ ソトニハ ドヤドヤト ヒトノ チカヅク アシオトガ キコエマス。「オヤツ」 大チャンハ ギヨツトシテ タチアガリマシタ。ブルハ シキリニ ホエタテマス。

「ヒトクヒドジンガ カタキウチニ キタノヂヤナイカシラ?」 ココロノ ウチニ サウ オモヒナガラ イリグチニイツテ ソトヲミタ 大チャンハ オモハズ「アツ」ト イツテ オドロキノコエヲ アゲマシタ。

兒童の作品

或夜

大廣場小學校三年 早川孜

今夜はとてもしづかである。なみ木も小鳥もあまり音をたてない。たゞときどきなみ木ががさ〱とかすかな音をたてる。五六人の人がゆくわいさうに話をして通るがやみの中にすはれるやうにきえて行く。おゆからあがつて、べんきやうをしてゐると、ぱつと光つた物がある。自どう車のヘツドライトの光だらう。明日は學校だと思ふとうれしくてうれしくてしようがない。なんだかなみ木の葉音までが明日は學校〱といふやうにきこえる。今日はほんとうにしづかである。

妹の病氣

松林小學校四年 寺田悦子

午後五時頃であつた。私が二階から下りて來ると、妹が泣いてゐた。どうしたのかと思つて、よく見ると妹の顏や手や足に一ぱい何かボツ〱が出來てゐた。そこへお父さんが、いらつしやつて、ひよつとすると、水ぼうそうかもしれんから病院に行かうとおつしやつた。妹は病院がきらひなので、いやいやといつて又泣き出した。お父さんは、こまつたので妹に「病院かへりにお菓子を買つて上げよう」といひますと、妹は其のお菓子がすきなので、やうやく病院に行つた。

コレハナンデセウ

マアキレイ、コレハナンデセウ チヨツトミルト ハナビラガ チツタヤウデモアリ チヨガミノヤウニモ ミエマス。シカシ ハナビラガ チツタノデモ ナケレバ チヨガミ デモナク、コレハ テフノ ハネニ ツイテヰル コナ ヲ ケンビキヨウ デシヤシン オホキクウツシタモノデス。

激烈なる文字を滿載した排日書籍

奉天城内支那書店で發見さる　既に賣り盡した後

【奉天特電十三日發】最近奉天城内大東關と小東關の間にある支那人書籍店長城周書店に排日宣傳書籍を發見販賣してゐることを探知したので取調べたが既に該書籍は賣り盡されてゐたらしく一部だけ奉天總領事館の手に入つたが四六版約四百ページに亘るもので日本人謀殺張作霖案と明記した猛烈なる排日書籍で劈頭に田中前首相の寫眞を入れ其他張作霖氏爆死事件當時の寫眞を集めて張林霖氏の爆死を日本の所爲の如く捏造し田中内閣打倒の激烈なる文字を滿載してゐる、發行所は上海の某支那書店となつてゐるが、奉天にて印刷されたもので支那側には相當散らばつてゐる模樣である

那須御用邸で聖上御研究

高原の昆虫等に就き

【東京十三日發電】目下葉山御用邸に御駐蹕中の聖上陛下には二十日朝葉山御發約一年振りに那須御用邸に御單身にて行幸あらせらるべく御内定の由であるが同地では政務御親裁の傍ら生物學の御研究殊に高原の昆蟲其の他につき御研究遊ばされる外本年は那須山に御登山の壯擧を御決行あらせらるゝ御豫定と承る

疑似コレラ長崎に現はる

上海から入港した船の火夫一名が死亡

【長崎十三日發電】上海から大阪へ直航の途コレラ患者らしき一名の火夫の死亡者を出した國際汽船テキサス丸（七五〇〇）は當港外にて檢疫死亡者の檢便を行つた結果本日疑似コレラ菌を發見引續き檢鏡中にて今明日中に或は眞性と決定發表さるゝやも知れず、なほ一名疑はしいものあり、目下乘組船員の檢便中である

續發せねば檢便せぬ　木村課長談

右に就き木村檢疫課長は語る
矢張傳染系統は上海なんですね長崎よりの船の檢便ですか、情報がよく解りませんが長崎市内に續發する樣でしたら嚴重檢便しなくてはならないでせう、だが、今後出ないとしたら檢便はしません、丁度今内地で大連よりの入港船に對して檢便してゐない樣に、何れにしてもその後の情報が知りたいものです

檢便中の船客は陰性　今夕隔離解除

鎌田コト夫人が眞性コレラと決定以來大連署では神經を尖らし同夫人の乘船して來た大連丸より上陸した船員および船客の行先地を調査し管内二十五ヶ所の交通遮斷を行ふ一方採便檢査中であつたが、何れも陰性と確定、この儘異狀なき限り十四日の日沒期を期して全部解除する事にした
尚大連署では十三名の臨時防疫夫を傭ひ防疫に努めると共に十三日は午前四時半から濱町滿洲船渠會社を始め附近一帶に居住する漁夫、その他苦力千三百名に豫防注射を行ひ十四日は千代田町方面の下層支那人に對し注射を施行する豫定である

視察團へ通牒　虎疫の危險なし

大連のコレラは内地方面にも多大の衝動を與へたもの〻如く豫て滿洲視察のため來滿の豫定になつてゐた各種團體も此際の旅行を躊躇してゐるやの向あるにより大連署では商工會議所の手を經て當分の模樣では絕對安全なる旨既定旅行視察團に通牒を發すると

宮田前總監不起訴

【東京十三日發電】宮田前警視總監は和歌山遊廓問題に關し東京及び大阪檢事局に於て取調を受けたが、宮田氏には別に暗き影なきこと明瞭となつたので十三日不起訴と内定近くその決定が與へられることゝなつた

父危篤に歸さぬ　酌婦の惱み

十二日午前十時沙河口元町料理店萬遊亭酌婦小六事出村ハツヱ（二〇）の郷里福岡縣に在る實父より父危篤直歸す樣お世話頼むと沙河口署へ依賴して來たが警察では直ちに樓主杉山を呼出し其旨を通じた處樓主側ではハツヱは本年春青島より千二百圓の前借で鞍替へして來たもので歸せないと目下紛糾してゐる

全國中等學校野球大會

市岡の猛打に青島軍慘敗　十一對零のスコアで

【大阪特電十三日發】市岡中學對青島中學の試合は市岡中學の先攻で開始されたが、市岡は第二回に一本の三壘打と五本の安打、四個の敵失に一擧入點をあげて青島を壓迫し五回八回に各一點、九回に岡本の本壘打で更に一點を加へ計十一點を算したるに反し青島は市岡の宮村投手の好投に牛耳られて安打僅かに一本遂に三壘を踏むもの〻なく手も足も出ず慘敗した

試合短評

【大阪特電十三日發】市岡の無理のない打擊はキビ〳〵として守備と相俟つて斷然青島を寄せつけなかつた宮村は特に偉力ある投球で落付いてよくコントロールし攻擊を封じた、青島は荒削りが禍して好機をつくり得ず小川投手は遠球を掬へ過ぎて却つて敵に乘ぜられた感がある

前橋對臺北　ノーゲーム

【大阪十三日發電】全國中等學校野球前橋中學對臺北一中の試合は前橋の先攻にて開始第一回兩軍零第二回表零、同回裏臺北の攻擊に入りて降雨ありノーゲームとなり明日午前八時より開戰することゝなつた

スポーツ

スポンヂ野球　二勝者戰（第二日）

十三日午後二時から擧行された第五回大連スポンヂ野球大會第二日目二勝者戰の成績左の如し

	一	二	三	四	五	六	七	計
先攻 大連病院	0	1	4	0	2	0	3	10
遼友倶樂部	0	0	1	1	0	0	1	3

	一	二	三	四	五	六	七	計
先攻 遞信	2	0	0	5	1	4	0	12
電氣課	2	7	3	3	0	0	0	9

	一	二	三	四	五	六	七	計
先攻 技術研究所	0	0	0	0	0	4	0	4
滿洲日報	0	0	3	0	0	0	0	3

七A－二で實業再敗す

後半戰で亂打されて　きのふの對早大第二回戰

大連實業團對早稻田大學第二回野球戰は十三日午後四時二十分より中央公園内實業球場で實業先攻にて開始、結局七A對二にて早大再勝す、閉戰同六時、球審二神、壘審中澤試合經過次の如し

		一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
實業	敵失	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2
	安打	0	0	0	0	0	2	0	0	1	3
	得點	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
早大	得點	0	0	0	0	3	4	0	0	A	[illegible]
	安打	0	1	0	0	3	3	0	1	[illegible]	[illegible]
	敵失	0	1	1	0	0	1	0	1	[illegible]	[illegible]

△第一回　實業中川二匍失に出で安藤の投前犧打と高橋の二匍に三打したが中島遊擊直球▲早大水原二壘右の安打に出で水上の犧打に二進したが、伊丹左大飛森投匍（兩軍零）
△第二回　實業渡邊山本三匍、岩瀨二匍▲早大佐藤遊擊不規則バウンドの安打に出で、伊達のバンドは一邪飛となり矢島中堅大飛球に二死、佐藤二盜に退く（兩軍零）
△第三回　木下三匍宮武中飛中川遊匍▲早大淸水遊匍失に出たが三原のバンド投直となつて重殺水原遊匍（兩軍零）
△第四回　實業安藤中飛高橋二匍中島三匍▲早大水上一邪飛伊丹遊飛森三飛（兩軍零）
△第五回　實業渡邊中堅越に二壘打し山本の三壘左の安打に生還山本二盜し（淸水多勢と代る）更に投手暴投に三進し岩瀨スクイズを失して空振したのを伊丹三壘に暴投して山本も生還、岩瀨三振、木下三匍宮武遊匍實業二點を先取して意氣昂る▲早大（この頃より細雨降る）佐藤左飛伊達三振後、矢島四球に出でて二盜したが多勢三振（實二早零）
△第六回　實業中川三振安藤一匍高橋一飛▲早大三原三越安打し水原の左中間二壘打に生還、水上〇－二後高目の球を左越に本壘打して水原水上生還して早大三點を得、伊丹遊匍、森三振に退き佐藤四球に出たが伊達の遊飛宮武後走好捕する（實零早三）
△第七回　實業中島一匍渡邊三振山本遊飛▲早大二死後三原三遊間に安打して二盜水原四球水上の遊匍失に二死滿壘となり、伊丹の三遊間安打に三原、水原生還、水上二壘森左前に直球安打して水上生還伊丹一壘三進、この時森の二盜を刺すため三壘より二壘に送球される間に伊丹本盜を試み安藤の投球惡くして成功、森三盜、佐藤の中堅左の飛球は中島快走轉び乍らに好捕したが早大四點を入れ勝敗決す（實零早四）
△第八回　實業岩瀨左飛木下二直宮武捕邪飛▲早大（實業遊擊手宮武二壘へ、二壘手安藤遊擊へ）伊達遊匍暴投に二進したのみ（兩軍零）
△第九回　實業中川三遊間を拔いたが安藤の一匍に封殺され高橋の投匍は安藤を封殺し中島遊飛に實業遂に敗る

實業	打數	得點	安打	犧打	盜壘	三振	四球	過失
7 中川	4	0	1	0	0	1	0	0
6 安藤	3	0	0	1	0	0	0	0
4 高橋	4	0	0	0	0	0	0	0
5 中島	4	0	0	0	0	0	0	0
8 渡邊	3	1	1	0	0	1	0	0
2 山本	3	1	1	0	1	0	0	0
9 岩瀨	3	0	0	0	0	1	0	0
3 木下	3	0	0	0	0	0	0	0
1 宮武	3	0	0	0	0	0	0	[illegible]
計	30	2	3	1	1	3	0	2

早大	打數	得點	安打	犧打	盜壘	三振	四球	過失
9 水原	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
4 水上	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
2 伊丹	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
5 森	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
7 佐藤	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
3 伊達	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
8 矢島	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
1 淸水	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
1 多勢	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
6 三原	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	32	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

本壘打　水上一
二壘打　渡邊一、水原一
併殺　木下－岩瀨
殘壘數　早大五、實業二

戰評

前半實業木下投手は得意の速球に攻め早大また調子が合はず素晴らしい好投をつゞけたが、流石に後半は疲れも現はれ球が多少緩くなつて來た、この時早大二、三の打者が待球主義に出で少しでも餘計に投手に投球させやうとした事は味ふべき點であつた▲然し何れにしても早大程のチームに對して徹頭徹尾同じ球で眞正面から攻めることは非常に不利であつてドウしても投手としてはチエンヂオヴペースの必要がある事を痛感した▲とは言へ今日の試合で木下投手は實際良く投げた、七回宮武の凡失で二死滿壘の危機を招き精神的にも可なりの打擊を受け、續いて早大に亂打されてしまつたが渡邊の快打と共に大いに賞されて好いだらう▲そして實業全體としても實際良く戰つたが、實業三の安打無四球は早大投手の好投を物語る▲ピンチに強い水原、水上、伊丹の打擊もさる事ながら今日の早大の勝因は結局三原、水原の安打であつた▲戰前實業安藤君が自らフリーバッテイングの球を投げてゐた悲壯な努力は涙ぐましい思ひがした。

蒐集した木魚を電園内で永久に陳列

竹内坦道氏が一般の觀覽に供す

滿洲新報大連支社長竹内坦道氏は夙に木魚蒐集家として知られ木魚庵と號する程であるが、今回電氣遊園内元喫茶店跡に極めて風雅な陳列所を設け多年蒐集せる大小種々多數の所藏木魚を永久に陳列し毎日午前八時より午後十時まで一般來園者の淸覽に供する事にしたと【寫眞は竹内氏と自慢の木魚】

暴風雨のために Z伯號出發延期

エツケナー司令言明

【フリードリツヒス、ハーフエン十三日發電】エツケナー博士は昨夜遲く「暴風のためツエツペリン伯號は十五日朝迄出發しない」と言明した

フ氏寄贈機で歡迎飛行　帝國飛行協會

【東京十三日發電】ツエツペリン伯號飛來に際し帝國飛行協會では曩てドイツのフユーネフエルド男より寄贈されたオイローパ號を飛行せしめツエツペリン伯號の歡迎飛行をなさしめる事となつた

宮城敬禮許可

【東京十三日發電】ツエツペリン伯號が宮城に敬意を表する件は本日海軍省より許可の指令を發した

奉天高女事務員縊死す

【奉天特電十三日發】奉天高等女學校事務員坂本禮藏氏はかねて精神に異狀を呈してゐたが、十三日午後奉天信濃町十二番地の自宅に於て縊死を遂げた、急報により隅田町派出所より警官急行し應急手當を加へたが蘇生するに至らなかつた

警笛に氣づかず轢殺さる

北崗子附近踏切りで

十三日午後一時五分小崗子驛より北崗子に到る大連基點路標四二三の地點を三二四貨物列車（機關士坪井正一（三七）車掌有賀濟（三九）が乘込み進行中、北崗子一四張道十（三〇）といふ鮮人が笛に氣つかず線路を横切らんとし汽車に刎飛ばされて即死した

交通事故又も六件

◇同日午後一時三十五分には北大山通り十四番地大每館前において北大山通り四秋田商會自動車運轉手八巻駒雄（四〇）の操縱する貨物自動車は二、三尺前方で倒れた支那人を避ける爲め突然カーブを切つた刹那、住所氏名不詳の支那人を轢き倒し直ちに被害者を唐澤病院に擔ぎ込み應急手當を施したが全治まで六週間を要すべく頗る重態である
◇同四時三分には島町五十四番地先路上に於て白雲山馬車收容所馭者石成文（三七）の客馬車と沙河口以下不詳馭者徐雲福（四八）の荷馬車と衝突し客馬車の方は車體を破損し約三圓の損害を受けた
◇同四時三十分には東鄉町十四番地先車道に於て寺兒溝永樂茶園北鄰馭者劉道發（三七）の荷馬車と若狹町九一車夫李爽（三二）の人力車は車體を小破し約七圓の損害を受けた
◇十三日午後零時半旅大道路星ヶ浦臨海浴場とホテル分館との間に於て市内若狹町六二第一タクシー運轉手宮本昇（三七）の自動車は市外黑石礁五苦力朱洪令（二四）を轢いたが被害者は後頭部をしたゝか打たれ人事不省に陷つたので直に小崗子博愛病院に擔ぎ込み應急手當を施したが生命には別條ないらしい
◇十二日午前十一時ごろ大連東鄉町九十三番地前車道において寺兒溝苦力宿舍の八苦力頭宋守仁（五五）は自轉車で疾走して來た飛驒町一五安惠棧方店員田汝翼（二七）の直前を横斷せんとして衝き飛ばされ左腕に治療二、三日を要する打撲傷を負ふた

猿轡を箝めて賣つた預り娘を拉去

伯父が抱主とグルになつて實母大連署へ保護願

大分縣別府市住吉町德光常夫かた鈴木淺江は夫が先年死亡した爲め娘四人の中長女鶴子（一七）は未成年のため淺江の實兄に當る大連逢阪町一五六無職鈴木治郎が後見人となり亡夫家族の家を相續せしめ、一名は別府の紹介人に藝女として一やり二名は自分が引き取つて養育してゐるが、治郎は鶴子を喰ひ物にせん爲め昨年三月藝妓仕込みに名を藉り前借九百圓で下關豐前田町醉月樓へ賣り飛ばし右借金を着服し　たのみならず先日は又しても佐賀縣唐津町貸座敷鶴福本店へ千六百圓で仕替させんとしたので、淺江は鶴子の將來を氣遣ひ同人を連れ歸り鶴福本店には負償償還に關して交渉中、八月九日鶴福本店は兄治郎と共謀の上鶴子に猿轡をはめて悲鳴をあげるのも構はず自動車に乘せて拉去したた要するに治郎は好智にたけてゐる男であるから自分の住所である大連に連行し藝酌婦に賣り飛ばすものと思はれる、若し右の者が稼業出願の際は許可せざるやう取計ふと共に尙所在搜査の上保護して貰ひたいと十三日大連署に願つて來た

支那女投身

十三日午前九時頃、西埠頭派出所前で一名の怪支那美人が海中に飛込みそのまゝ姿を見せないので大騷ぎとなり潜水夫を雇ひ搜査中であるが同人は山東生れ陳氏（二四）で連日の暑さの爲狂つたものだと

・・・・・・翡翠のヒスイ　磐城町に開店した福豐東は本場直輸入のヒスイ寶石類其他を豐富に取揃へて安値な正札で賣出して居るので支那土産として一般に人氣を呼んで居ると

けふのラヂオ

昭和四年八月十四日（水曜日）
自午前十一時　相場（特產、錢鈔、株式、各地相場）
自午後零時三十分　相場（特產、錢鈔、各地相場）ニユース
自午後三時三十分　相場（錢鈔、株式、各地相場）ニユース
自午後七時三十分
一、ニユース
二、英語講座「第十四課病氣」大連彌生高等女學校茶谷茂
三、趣味講座「浮世繪に就て」新藤正雄
四、マンドリン獨奏（イ）幻想曲嵐（ロ）ハイドンの主題による變奏曲ラニエリ作伊藤十五郎
五、滑稽講談「蟻入百物語」福樂キートン
六、箏曲「武士の鑑」（尺八）岡持盛風（箏）外山夫人
七、料理獻立
八、天氣豫報

愛慾の窓 (69)

戸川貞雄作　浅枝次朗畫

奔流 (三)

「……お兄さま！只今」

扉の外から倭文子は明るい聲をかけた。

「お歸り……。早かつたね」

友永は優しく應じる。すると栗色の扉が引明けられて、上氣した倭文子の顏が現れたが、久彦の存在に氣付くと、ぽつと顏を赧らめながら

「……お客さまなの？お邪魔ぢやありません？」

と、訊ねかける。

「……さ、何卒！僕はそろ〳〵お暇をしなけりやアなりません」

久彦は云つて、倭文子の美しい顏をちらと眺めた。

——何といふ明るい顏だらう！

網子には、こんな明るい顏の出來る日が、一日もなかつた！

結婚を前に控へて、若い心情をときめかしてゐる倭文子の、網子に似てゐる面影が、またしても久彦の心臟を痛くした。

「……まあいゝぢやアないか、逃げ出さんでも」

と、友永は要領よく小森の調査書類を倭文子の眼から片附けながら

「草野君はね……。お願ひしておいた小森家の調査を惹けてしまつたんでお前に對して面目ないといふわけなんぢやよ、はゝゝゝ」

「……まあ、そんなこと……もう何うでもおよろしいんですわ」

と、倭文子は微笑んで、久彦の實體げな顏を見た。

「……いや、さういふわけでもないのですが」

と、久彦は苦笑した。

「實は……只今もお兄さまに御報告申上げたところですが、大體、あなたの方の御調査どほりだと思ふのです……それに、結婚などといふことは、何はおいても當人同志の意志なり感情なりが、根本條件でなければならないのですから……」

「有り難う、有り難う……」

と、友永は感動的な調子で繰返した。彼はもう話が纏まつた以上は、一切厭なことは倭文子の耳に入れたくないと思つてゐたのである。

「……結婚式には改めて御招待するつもりでゐるが、君、是非顏を出してくれたまへね」

友永は親みを籠めた調子で云つた。

「……有り難う！是非」

久彦は云つて、倭文子の方をそつと偸み視た。倭文子は横を向いて垂首れ加減に、襟筋のあたりまでぽつと赧らめてゐる。

そこへ給仕が訪れて來て、松屋から御注文の品が屆きましたと報じた。

「……さうか、此方へ屆けさせてくれたまへ！」

友永は葉卷を口にしたまゝ、鷹揚に命じた。倭文子は、もう一度

報くなつた。そこへ運ばれて來た品々は、絽の長襦袢だの裾模樣だの、または帶の類だのであつたから。

「……お互ひに男だから一向張合がないが、草野君、見てやつてくれたまへ、それに君はまだ獨身ぢやらう、細君を貰ふ時の參考になるよ、はツはゝゝゝ」

友永は晴やかに笑つた。さういふ華やかな結婚の調度の品々は、實際、この洋室のなかに、媚めいた雰圍氣を撒き散した。倭文子は眼をうると嬉しさとで、うつとりとそれらの調度に見惚れてゐた。

久彦は、しかしもうそれ以上その場にゐたゝまれないやうな胸苦しさをおぼえ、そゝくさと挨拶を殘すと、逃げるやうにして友永と倭文子の前を辭し去つた。

滿日文藝

滿日川柳 「夏服」 小岡新生選

夏服の妻たくましい脚を出し　沙河口 健一

雲の峰崩れて走る夏の服　旅順 ツ六

牛引の夏服喘ぐ陽のさなか　奉天 瓢六

汲みたての水へいきなり服を脱ぎ　大連 三味線草

夏服のモダンガールは跳て飛び　普蘭店 火呂志

椅子のみが上衣着てる夏の部屋　旅順 紀南

白服へ無遠慮に來る撒水車　泉頭 北斗

夏服を蔽つて前掛一つとれ　奉天 連樂

夏服の女大切なとこだけ衣　旅順 青風

夏服のしみを女房にとがめられ　撫順 俄莱坊

夏服の輕さ野に行き山に行き　大連 白山

貧乏に馴れ汗臭い服になれ　撫順 しげを

新調の夏服着込んで晴た顏　奉天 湖水

曲線を其まま女の夏の服　沙河口 溪聲

夏服を串にさしてる子澤山　同

夏冬を兼ねる工場の作業服　金州 素綠

賜落も酒着の内は樂にすみ　旅順 柳月

夏服の月賦がすめば秋の風　大連 意靜

夏服を洗ひ晒して三年目　旅順 桑丸

子を抱かす妻夏服を持たされる　大連 愛申

椅子吹いて腰落つける白ズボン　普蘭店 火呂志

新調の服へ白靴月賦なり　奉天 晶山

一夏で妹に下げる姉の服　旅順 都一

夏服の脫捨てられる汗と臟　沙河口 川村

洋服の椥陳列へ夏の色　旅順 天坊

夏服になつて女の生地が知れ　大連 一骨

妹は夏服着てもよく似合ひ　泉頭 俊子

お下りの夏服少し燒けてゐる　遼陽 花瓢

夏服の暑苦しさを脫捨てる　朝鮮 爲樓

洋服へ日傘は二三間遲れ　沙河口 素礎坊

糊加減だけでもつてる白小倉　大連 滿山

夏服の二三日目汗の滲も出來　同 農夫

同 木の葉